平成23年 消防年報



平成24年刊行 南越消防組合

はしがき

南越消防組合は、昭和45年9月1日、旧武生市、旧今立町の1市1町の構成でスタートしました。市町村合併や他町村の加入を経て、現在は、越前市、池田町、南越前町の1市2町の構成となり、住民が安全と安心を実感できる消防行政を推進しています。

南越消防組合は、火災や救急・救助だけでなく、災害予防の徹底、管内住民への広報など多様な活動に取り組んできました。近年は、多発する豪雨や台風、地震などの自然災害、または人的災害などでの被害が増大しており、職員の訓練や消防装備の増強に努めています。

しかし、世界の動きが即座に日本へ波及する現在、災害事案も複雑多様化しております。様々な事態に適切に対応できるよう、日々研鑚を積んでおりますが、消防を取り巻く現状は厳しさを増しています。

この消防年報は、南越消防組合の消防力及び平成 23 年中の消防業務に関する現況を収録し、広く紹介するために編集、発行するものです。

今後における消防行政の合理的な運営と消防力の充実強化を推進するために、この年報が消防関係者だけでなく多くの関係各位にご活用いただけることを願います。

平成24年7月

南越消防組合消防本部

平成 24 年度 南越消防組合消防業務推進重点目標

『社会の安全と安小に向けた消防対応力の向上』

次の事項を重点方針とする。 一 重点方針 一

- 1 火災予防対策の推進
- 2 多種多様な災害への対応強化と救命率向上
- 3 消防救急無線のデジタル化推進
- 4 責任ある職務の遂行と資質向上
- 5 行財政改革の取り組み推進

目 次

管内の地域地勢	1
南越消防組合設立の経緯 構成市町の人口・世帯数等	2
南越消防組合のあゆみ	3-7
管内における大火の記録	8
○総務関係	
消防本部・署の現況	9
消防相互応援協定	10
南越消防組合組織機構	11
消防予算 歳出の性質別内訳	12
消防職員の配置状況	13
消防職員の勤続年数	14
消防職員の年齢区分	
消防職員の各種資格取得状況	16
消防音楽隊	17
○予防関係	
防火対象物の現況	18
消防用設備等の設置状況	19
消防法・火災予防条例に基づく各種届出状況	20
危険物施設の設置状況	21
危険物関係各種事務処理状況	22
建築物同意状況	23
消防関係各種講習会等の状況	24
○警防関係	
火災出場状況	
消防車両等配置状況	26
特殊機械器具の状況	
消防水利の状況	
水防資器材の状況	29
○通信関係	
通信施設系統図	30
消防通信施設の状況	31
1 1 9番受信状況	
その他の緊急通報受信状況 災害別覚知状況	
月別降雨量(過去5年間) 過去5年間の気象状況	
気象情報受信状況	35

〇火災統計

平成23年中における火災の概要	36
火災発生状況(過去 5 年間)	37
行政区域別火災発生状況	38
月別火災発生状況	39
用途別•原因別火災発生状況	40
出火原因別火災発生状況	41
初期消火の状況 曜日別火災発生状況	42
○救急·救助統計	
平成23年中における救急・救助の概要	43
署所別救急出場状況	44
月別救急出場状況	
傷病程度別搬送人員 過去5年間における救急出場状況	46
応急処置の状況	47
北陸自動車道における救急出場状況	48
救助出場状況	49
発生場所別救助出場状況 曜日別救助出場状況	50
南越消防組合消防団の沿革	51
消防団組織機構	52
消防団員の配置状況	
消防団員の年齢状況 消防団員の勤続年数 消防団員報酬	
消防車両配置状況	55
小型動力ポンプ配置状況	56
○関係団体	
越前市防火•防災委員会 南越地区危険物安全協会 自警消防隊	57
越前市白衛消防隊連絡協議会の小年消防クラブの外年消防クラブ	58

管内の地域地勢

南越消防組合は、越前市、池田町、南越前町の1市2町で構成され、人口100,003人、面積約769平方キロメートルを管轄しています。管轄区域の周辺は、東に大野市及び岐阜県、西に日本海、南に敦賀市及び滋賀県、北は鯖江市、越前町及び福井市にそれぞれ接しています。

「越前市」

越前市は、大化の改新のころに越前の国府が置かれ、以来、長い歴史のなかで千年以上も越前地方の中心地として発展してきました。北陸の秋を彩る「たけふ菊人形」や紫式部公園、古都の街並みを活かした「蔵の辻」などの観光地には、毎年県内外から多くの観光客が訪れます。

また、古くからものづくりが盛んで1500年の歴史をもつ越前和紙をはじめ、越前打刃物などの伝統工芸品の産地です。紙すきができる「パピルス館」や刃物づくりができる「タケフナイフビレッジ」などでは伝統産業に直接触れることができます。近年はハイテク産業が立地し、県下第1位の製造品出荷額を誇る産業都市として発展を続けています。

「池田町」

池田町は、四季の変化が美しい山間の町で、近年は森林資源を活かした木工品や山菜、蕎麦などを生産しています。渓流温泉冠莊、能楽の里歴史館や能面美術館などの文化観光施設なども整備され、「田楽アートビレッジ池田」を道標に活性化に取り組んでいます。

「南越前町

南越前町は、古くから陸と海の交通の要衝にあり、海、山、里の美しい自然と豊かな環境、多様な歴史文化遺産に恵まれた町です。日野川上流部の山間地に位置する今庄地区は豊かな森林に恵まれ、その下流に位置する南条地区は、日野川の両岸に整備された田園地帯が広がっています。若狭湾に面する越前加賀海岸国定公園の一角にある河野地区は、豊かな自然と海の幸にあふれています。「海と緑の歴史の恵みに抱かれて、出会いから活力の花ひらく町」を基本理念に、町づくりに取り組んでいます。

敦賀市からJR北陸トンネルを北に抜けると当組合管内となります。北陸自動車道とともに中京、関西 圏の接続点として当地方の重要性が一段と高まり、今後も広域的な経済交流が深まるものと予想され、管 内構成市町の更なる発展と飛躍が期待されています。

南越消防組合設立の経緯

昭和45年7月に設立された武生鯖江地区広域市町村圏協議会(2市7町2村)は、圏域の一体的な振興発展を図るための計画を樹立し、理想的な圏域の形成を定義づけました。消防に関しても、道路交通網の発達による市町村間の時間的距離的の短縮また、災害の複雑多様化から専門的知識や、高度の技術を有する常備消防体制の確立を望む地域住民の声が高まってきました。

このため、昭和24年より常備消防体制を整えていた旧武生市を中核として消防一部事務組合を 組織し、逐次、次のとおり隣接町村が加入しました。現在「南越消防組合」は、1市2町で構成さ れています。

昭和45年 9月1日 武生市と今立町で「南越消防組合」を設立

昭和46年10月1日 南条町と河野村が加入 昭和47年10月1日 池田町と今庄町が加入

平成17年 1月1日 南越前町が加入(南条町、今庄町、河野村合併に伴うもの。)

平成17年10月1日 越前市が加入(武生市、今立町合併に伴うもの。)

構成市町の人口・世帯数等

平成24年4月1日現在

			F	
状況 市町別	人口(人)	世帯数(世帯)	面積(k㎡)	
越前市	85,068	29,103	230.75	
池田町	3,145	1,055	194.72	
南越前町	11,790	3,574	343.84	
計	100,003	33,732	769.31	

南越消防組合のあゆみ

当組合の構成市町には、江戸時代から火消組が置かれていましたが、明治27年2月の勅令「消防組規則」に基づき消防組に改組し、公設消防体制が始まりました。その後、戦雲せまる昭和14年1月の「警防団令」により、防空のために組織されていた防護団と消防組を統合して警防団が設置されました。終戦後は、昭和22年4月の「消防団令」により警防団を消防団に改組、その後、昭和22年12月に公布された消防組織法により自治体消防体制がスタートしました。

常設消防の歩みは、大正15年6月に武生町消防組の内部機関として部員3名の常設部が設置されたのが始まりで、昭和24年3月7日、この常設部を解消し、定員30名、消防車4台を配備した武生市消防本部と消防署が設置されました。

以来、人員、施設等も増強され、「南越消防組合」設立前には定員40名、1本部、1消防署、1分 遣所に、化学車1台を含む消防ポンプ自動車7台、救急車2台を整えるに至りました。

年月日	沿革
昭和 45.9.1	武生市と今立町で「南越消防組合」を設立 武生市に消防本部、消防署(現:中消防署)及び村国分遣所開設 定数条例改正(職員55名、武生消防団450名、今立消防団106名)
昭和 45.10. 1	消防本部機構制定(庶務・予防・警防の3係を設置)
昭和 46.10. 1	南条町と河野村が組合加入、職員定数条例改正(65名)
昭和 46.10.15	団員定員条例改正(南条消防団60名、河野消防団93名)
昭和 46.12.22	今立署開庁、消防業務開始(職員8名、消防車2台、救急車1台)
昭和 47. 3.30	団員定員条例改正(河野消防団60名)
昭和 47.4.1	南条署開庁、消防業務開始(職員6名、消防車1台、救急車1台)
昭和 47. 6.22	今立町自警消防隊連合会発足
昭和 47. 7.10	集中豪雨で水防活動実施(南条町清水川、武生市鞍谷川堤防決壊)
昭和 47. 8.12	南条署に水槽付消防ポンプ自動車配備
昭和 47.10. 1	池田町と今庄町が組合加入 職員定数条例改正(80名) 消防本部機構改革(総務・予防・警防の3課設置) 河野署開庁、消防業務開始(職員5名、消防車1台)
昭和 47.10.30	団員定員条例改正(池田消防団63名、今庄消防団105名)
昭和 47.11.6	北陸トンネル内列車火災事故発生、救助活動実施(死者30名、負傷者714名)
昭和 48. 4. 1	今庄署開庁、消防業務開始(職員6名、消防車2台、救急車1台) 南越地区消防協会設立
昭和 48.9.1	内閣総理大臣表彰(北陸トンネル内列車火災事故での救助活動に対して)
昭和 48.10. 2	火災予防条例制定
昭和 48.12.25	16m級シュノーケル車購入、本署配備
昭和 49. 1.28	池田署業務開始(職員6名、消防車1台、救急車1台、仮庁舎にて)
昭和 49. 3.30	職員定数条例改正(85名)
昭和 49.5.2	池田署庁舎新築落成
昭和 50. 6.21	消防音楽隊発足(隊長以下16名)
昭和 51. 3.30	職員定数条例改正(90名)
昭和 51. 5.11	南越地区危険物安全協会発足(武生市危険物安全協会を発展的に改称)

年月日	沿革
昭和 51. 5.14	今庄町自警消防隊連絡協議会発足(今庄町部落消防連絡協議会を発展的に改称)
昭和 51.11. 1	消防相互応援協定締結(北陸自動車道業務に関し、対福井地区)
昭和 51.11. 2	北陸自動車道武生一福井間救急業務開始
昭和 51.12.15	国高分署庁舎落成、業務開始(職員6名、消防車2台、救急車1台)
昭和 52. 1.18	河野署に水槽付消防ポンプ自動車配備
昭和 52. 3.28	職員定数条例改正(94名)
昭和 52.12. 5	消防相互応援協定締結(北陸自動車道業務に関し、対敦賀美方(組))
昭和 52.12. 8	北陸自動車道武生一敦賀間救急業務開始
昭和 52.12.24	池田署に水槽付消防ポンプ自動車配備
昭和 52.12.28	消防救急一斉指令装置導入、集中管理による指令業務開始
昭和 53. 9.29	消防団定員条例改正(池田消防団60名)
昭和 53.12.25	職員定数条例改正(103名)
昭和 54. 8.24	全国消防救助技術大会出場(はしご登はん)
昭和 55. 3.31	本部庁舎の3階増築工事竣工
昭和 55. 9.21	組合設立10周年記念式典挙行
昭和 56. 1.14	56豪雪、雪害対策本部設置(消防車運行不能、武生市積雪 205 cm)
昭和 56. 3.28	職員定数条例改正(106名)
昭和 56. 7.13	今立町花筐小学校少年消防クラブ発足
昭和 56.10. 1	消防本部等機構改革(消防本部3課6係、消防署3課8係、消防署に副署長制)
昭和 57. 4. 1	今庄町少年消防クラブ発足
昭和 57.7.1	南越地区消防協会を南越消防協会に改称
昭和 57.10. 1	救助隊設置(隊長以下7名)
昭和 57.10.28	救助工作車の寄贈を受け本署(現:中消防署)に配備(日本損害保険協会)
昭和 57.11.21	南越婦人防火委員会(防火クラブ)発足
昭和 58. 4. 1	池田町魚見住宅火災発生(死者4名)
昭和 58.11.15	消防相互応援協定締結(北陸自動車道業務に関し、対鯖江・丹生(組))
昭和 58.11.15	丈生神山幼稚園幼年消防クラブ発足
昭和 59. 4. 1	今庄町今庄・堺・堺東3幼稚園及び今庄・湯尾・宅良・鹿蒜4保育所で幼年消防クラブ発足 消防本部警防課内に通信指令室を設置
昭和 59.11.28	おうしお、たんぽぽ保育園幼年消防クラブ発足
昭和 60. 4.	武生市東部地区及び今立町で不審火多発
昭和 61.6.1	消防相互応援協定締結(対滋賀県伊香郡(組))
昭和 61. 8.22	全国消防救助技術大会出場(ロープ応用登はん、はしご登はん)
昭和 61. 9.14	無線遠隔制御装置設置(河野署、池田署、今庄署)
昭和 62.10. 1	特別救助隊編成配置
昭和 62.11.11	北日野保育所幼年消防クラブ発足
昭和 63. 3.31	救助等訓練施設設置(訓練場、訓練塔)

年月日	沿革
昭和 63.4.1	消防本部等機構改革(本部に通信指令室、消防署に庶務課設置) 福井県消防相互応援協定締結
平成 元. 3.20	消防緊急情報システムを導入、運用開始
平成 元.12. 4	30m級はしご付消防自動車購入、本署(現:中消防署)配備
平成 2.4.1	池田町自警消防隊連合会発足
平成 2. 9.30	組合設立20周年記念式典挙行
平成 2.10. 1	女性消防団員(音楽隊カラーガード隊)採用(12名)
平成 3.3.26	職員定数条例改正(110名)
平成 4.8.28	全国消防救助技術大会出場(はしご登はん)
平成 4. 9.30	職員定数条例改正(121名)
平成 4.10.22	消防相互応援協定締結(対岐阜県揖斐郡(組))
平成 5.1.1	週休2日制完全実施
平成 5.4.7	「消防安全の日」(毎年3月24日)「安全管理再点検の日」(毎月24日)を制定
平成 5.10.13	救急救命東京研修所へ職員派遣(救急救命士養成に着手)
平成 6.1.3	耐震性貯水槽(100t)設置(第1号)
平成 6. 5.18	救急救命士誕生(第1号)
平成 7. 1.17	阪神淡路大震災に伴う応援出動(~1/21.3小隊延べ25名)
平成 7. 6.26	職員定数条例改正(129名)
平成 7.9.8	救助工作車の寄贈を受け本署(現:中消防署)に配備(寄贈者:日本損害保険協会)
平成 7. 9.27	世界体操選手権大会に伴う特別警備警戒(~10/10 サンド-ム福井)
平成 7.12.25	危険物防災指導車の寄贈を受ける(寄贈者:南越地区危険物安全協会)
平成 8.8.29	南越消防組合消防本部消防職員委員会に関する規則を制定(11月15日第1回委員会開催)
平成 8.10. 1	職員定数条例改正(143名) 福井県防災航空隊発足. 職員1名の派遣を開始
平成 8.12.25	給水車(10t)購入、本署(現:中消防署)配備
平成 9.1.9	ロシア船籍「ナホトカ号」沈没に伴う重油流出事故被害調査
平成 9. 1.24 ~平成 9. 2. 9	流出重油回収作業(河野村にてボランティア活動)
平成 9. 2.24	高規格救急車(第 1 号)購入、本署(現:中消防署)配備
平成 9.4.1	広域電算財務会計システム導入 福井県防災へリコプター応援協定締結
平成 9. 8.22	全国消防救助技術大会出場(ロープブリッジ渡過)
平成 10. 2.13	15m級はしご付消防自動車購入(東消防署配備)
平成 10. 3. 7	自治体消防50年記念全国消防職員綱引大会に出場(日本武道館)
平成 10. 4. 1	東消防署開庁(職員28名.消防車3台.梯子車1台.救急車2台 国高分署と今立署の統合) 組織改革により1本部2署4分署体制となる 女性消防官を初めて採用
平成 10. 6.21	第3回全国消防音楽隊マーチングフェスティバル出場(福井市)
平成 10. 7.15	武生市の南幼稚園及び、浪花保育園他 4 保育園に幼年消防クラブ発足
平成 11. 2.15	救助工作車(CD-II)購入、東消防署に配備し、普通救助隊運用開始

年月日	沿革
平成11.4.1	高規格救急車(第2号)購入(東消防署配備)
平成 11. 5.13	武生市の上太田保育園他10保育園に幼年消防クラブ発足
平成 12. 2.25	救助工作車(CD-Ⅱ)購入(南消防署配備)
平成 12. 3.24	南越消防組合情報公開条例を制定
平成 12. 4. 1	南消防署開庁(職員27名.消防車3台.救助工作車1台.救急車2台 南条署と今庄署の統合) 同署にて普通救助隊運用開始 組織改革により1本部3署2分署体制となる
平成 12. 7.25	高規格救急車(第3号)購入(南消防署配備)
平成 12. 9.17	組合設立30周年及び武生市防火委員会50周年記念式典挙行
平成 13. 3.27	南越消防組合職員の再任用に関する条例を制定
平成 13. 4.28	第4回全国消防音楽隊マーチングフェスティバル出場(神戸市)
平成 14. 3.26	個人情報保護条例を制定
平成 14. 8.18	武生市自警消防隊連合会設立50周年記念式典挙行
平成 15. 9.29	南越消防組合職員倫理条例を制定
平成 15.10.23	第16回全国女性消防操法大会出場(武生市味真野地区女性消防隊)
平成 16. 3.30	中消防署河野分署新庁舎にて業務開始
平成 16. 7.18 ~平成 16. 7.20	「福井豪雨」に伴い救助・水防活動実施
平成 16.11. 6	福井県知事表彰(福井豪雨特別功労竿頭綬)
平成 16.12.22	消防団定員条例改正(南越前消防団9ヶ分団225名)
平成 17. 1. 1	南越前町組合加入(南条町、今庄町、河野村合併) 南越前消防団設立 河野分署の所属署を中消防署から南消防署に変更
平成 17. 4. 1	職員定数条例改正(145名) 南越前町自警消防隊連絡協議会設立(69隊・944名)
平成 17. 4.19	県内初の女性消防吏員救急救命士誕生
平成 17. 4.25	消防本部・中消防署移転 高機能消防指令センターシステム運用開始
平成 17. 4.25	南越前町少年消防クラブ結成(4班・123名)
平成 17. 4.28	南越前町幼年消防クラブ結成(8班・220名)
平成 17. 6. 1	パソコンの1人1台体制による「消防情報ネットワーク」の運用を開始
平成 17. 9.26	南越消防組合「消防情報ネットワーク」と越前市「えちぜんゆうネット」を接続し情報の共有を図る。
平成 17.10. 1	越前市組合加入(武生市、今立町合併) 越前市消防団設立 武生市自衛消防隊連絡協議会を「越前市自衛消防隊連絡協議会」に改組(78事業所) 財務会計システム(予算編成系)導入 人事・給与システム導入
平成 17.12.12	水難救助業務開始
平成 18. 1.17	高規格救急車(第4号)購入(池田分署配備)
平成18.4.1	財務会計システム(執行系)導入 文書管理システム導入 消防相互応援協定締結(対滋賀県湖北地域(組)) 越前市自警消防隊連合会設立
平成18. 4.18	武生市防火委員会を「越前市防火委員会」に改称

年月日	沿革
平成 18. 7.18 ~平成18. 7.21	平成 18 年 7 月豪雨に伴い水防活動実施
平成 18.10. 1	契約管理・備品管理システム導入
平成 19. 2.19	高規格救急車(第5号)購入(河野分署配備)
平成 19. 3.25 ~平成 19. 3.26	能登半島地震に伴う緊急消防援助隊派遣 (消火隊:隊員5名、水槽付消防ポンプ自動車1台)
平成 19.4.1	指揮支援隊運用開始
平成 19. 4. 27	越前市防火委員会を「越前市防火・防災委員会」に改称
平成 20.4.1	緊急消防援助隊登録(消火隊 2 隊・救助隊 1 隊・救急隊 1 隊・後方支援隊 1 隊)
平成 20. 8.29	全国消防救助技術大会出場(はしご登はん・基本泳法)
平成 21. 2.13	災害支援車購入(中消防署配備)
平成 21. 3.19	高規格救急車(第6号)を購入(中消防署配備)
平成 21. 5.29	南越消防組合職員定数条例の一部改正(定数外)
平成 21. 8.20	全国消防救助技術大会出場(ロープブリッジ渡過)
平成 22. 2. 1	緊急雇用対策に伴う緊急雇用創出事業で臨時職員を雇用 住宅防火推進事業(住宅用火災警報器の普及啓発)20名、4ヶ月
平成 22. 3.19	南越消防組合職員定数条例の一部改正(23年度147名 24年度150名)
平成 22. 2.25	災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車(圧縮空気泡消火装置搭載型)購入(南消防署配備)
平成 22. 3. 1	緊急雇用対策に伴う緊急雇用創出事業で臨時職員を雇用 消防水利保全事業(消防水利の点検補修等の作業)8名、6ヶ月
平成 22.3.26	池田分署に救急消毒室を設置
平成 22.6.30	高規格救急車(第7号)を購入(南消防署配備)
平成 22.9.15	全国消防救助技術大会出場(ロープブリッジ渡過)
平成 22.10.1	緊急消防援助隊追加登録(救急隊1隊)
平成 23. 1.31	平成23年1月豪雪に伴う警防本部の設置。(南越前町今庄地区 最深積雪244㎝)
平成 23.2.18	災害対応特殊化学消防ポンプ自動車(圧縮空気泡消火装置搭載型)購入(東消防署配備)
平成 23.3.11 ~平成23.3.23	東日本大震災に伴う緊急消防援助隊派遣 (隊員45名、消防自動車4台)
平成24.4.1	財務会計システム更新 文書管理システム更新

管内における大火の記録

年月日		AOT TE
西曆	和暦	概 要
1575	天正 3.8.	信長が一向一揆討伐のため、竜門寺城を中心に府中一帯を焼き、
		僧兵700人、一般民11,500人を殺害しその住居等を焼く
4700	_ + 4 0	σ+m+ν, 4.00Α=φ+
1739		府中町大火、100余戸焼失
1754	宝暦 4.2.	府中町上町より出火、100余戸焼失
1762		府中町西街より出火し東へ延焼、南より出火し北へ延焼、残った
		所より再び出火し、1日3回の火災により殆ど全滅す
		【(当初213戸、次回以後は藩邸家中97戸、民家1,200戸焼失) │
1851	嘉永 4.	南日野村脇本より出火、南の烈風に煽られ60余戸焼失
1852	嘉永 5.3.23	府中町中心繁華街より出火、全町の70%(1,437戸)焼失
1867	慶応 3.	南条郡南杣山村にて南東の強風に煽られ、鯖波・別所・出村・関
		ヶ鼻の各集落まで延焼、焼失家屋約100戸
1873	明治 6.4.	今立郡粟田部村407戸、803棟全焼
1903	明治36. 4.13	武生町中心部の蓬莱より出火、南東の風で焼失家屋1,057戸
		延焼時間12時間、死者9名
1913	大正 2.9.19	武生町の蓬莱より出火、南東の風に煽られ531戸焼失
1920	大正 9. 4.13	南条郡南杣山村鯖波において北陸線の汽車の煤煙にて線路付近よ
		り出火、南東の風に煽られて上別所・出村両集落まで延焼
		(73戸焼失)、また、山林にも延焼
1922	大正11. 4.	 今立郡池田村谷口・野尻の両集落で70戸焼失
1927	昭和 2.4.21	 今立郡粟田部村163戸、218棟全焼、死者2名(幼児)
1927	昭和 2.6.24	 南条郡河野村甲楽城にて住宅143戸、非住宅99戸、寺院1全焼
1946	昭和21. 4. 2	今立郡池田村水海にて165戸焼失
1965	昭和40. 5.20	今庄町小倉谷にて42世帯、71棟焼失
1996	平成 8. 4.29	今庄町古木地係にて林野火災25ha焼失
2001	平成13. 4.23	今庄町大河内地係にて林野火災8ha焼失
	1,210. 7.20	

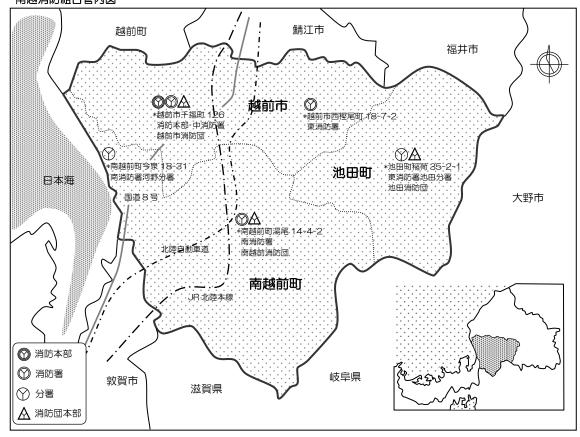
総務関係

消防本部・署の現況

平成24年4月1日現在

現 況区 分	所 在 地 TEL	構造 階数	建築面積 延面積(m)	建築等 年月日
消防本部·中消防署 (越前市防災施設併設)	越前市千福町 126 番地 TEL 0778-21-0119(代) FAX 0778-21-0093	鉄筋コンクリート 4階建 主塔鉄筋コンクリート	1,479.88 4,480.97 延 249.01	H17.4.18
消防救助 訓練施設	(災害情報サービス) 0778-22-4477	1 5 階建 副塔鉄筋コンクリート 1 平屋建	延 43.25	敷地面積 5,226,16 ㎡
付属施設	(一般情報サービス) 0778-21-8877	危険物庫・ゴミ庫 駐輪場・ボンベ庫	計 4 棟 延 50.72	0,220.10111
東消防署		鉄筋コンクリート 2階建	1,026.44 1,416.79	
消防救助	越前市西樫尾町 18-7-2 TEL 0778-43-0119 FAX 0778-42-0156	主塔鉄筋コンクリート 3階建	39.20 120.10	H10.3.30
訓練施設		副塔鉄骨造平屋建	24.01 40.67	
池田分署	池田町稲荷 35-2-1 TEL 0778-44-8119 FAX 0778-44-8109	鉄筋コンクリート 2階建	408.03	S49.3.30 增築H15.3.31 増築H22.3.29
南消防署 消防救助 訓練施設	南越前町湯尾 14-4-2 TEL 0778-45-0119 FAX 0778-45-0315	鉄筋コンクリート 2階建 鉄筋コンクリート 3階建	936.40 1,405.95	H12.3.27
河野分署	南越前町今泉 18-31 TEL 0778-48-3119 FAX 0778-48-3109	鉄筋コンクリート 2階建	424.32 559.12	H16.4.1

南越消防組合管内図



消防相互応援協定

個々の消防本部だけでは対処できない大規模災害や隣接消防本部境界付近で発生した災害等に際し、その被害を最小限にとどめるため、消防組織法第39条の規定に基づき、他の消防本部との間に次のとおり消防相互応援協定を締結しています。

◆福井県広域消防相互応援協定

平成18年 4月 1日締結 福井県下9消防本部

◆福井県防災ヘリコプター応援協定

平成 9年 4月 1日締結 福井県

◆消防相互応援協定

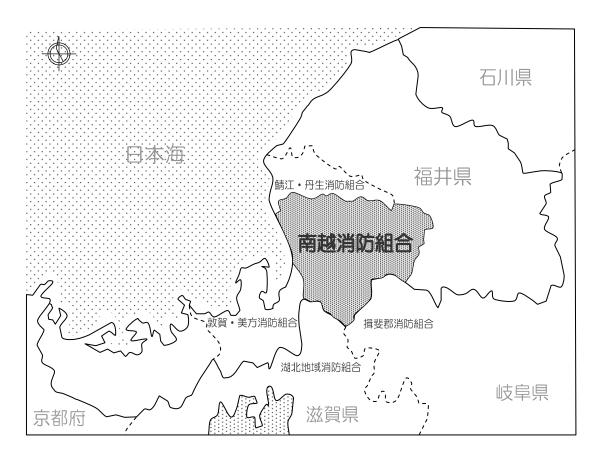
 平成
 4年10月22日締結
 揖斐郡消防組合(岐阜県)

 平成18年
 4月
 1日締結
 湖北地域消防組合(滋賀県)

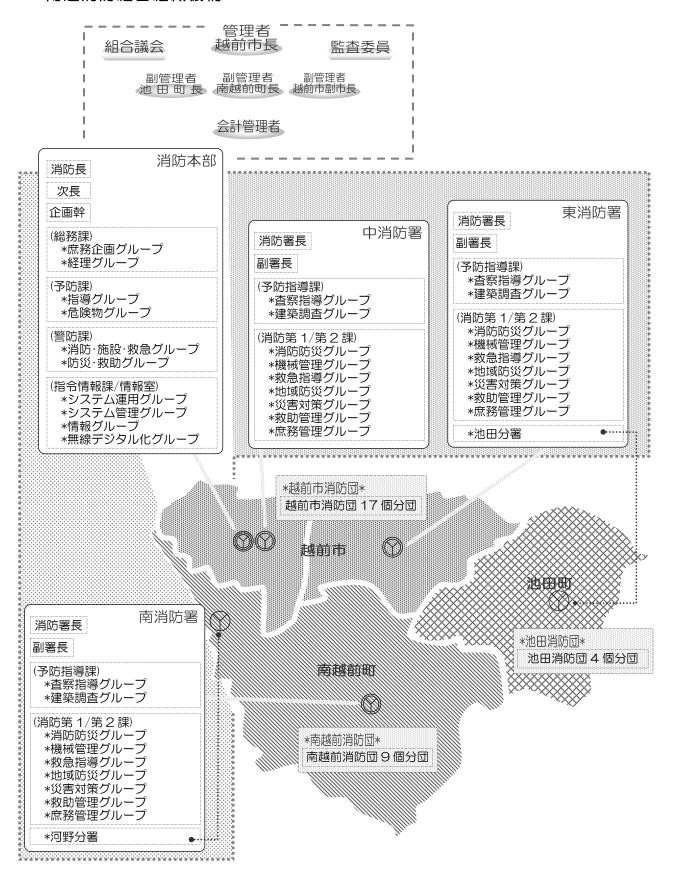
◆高速自動車国道北陸自動車道における消防相互応援協定

昭和51年11月 1日締結 福井地区消防組合(現・福井市消防局)

昭和52年12月 5日締結 敦賀美方消防組合昭和58年11月15日締結 鯖江・丹生消防組合



南越消防組合組織機構



消防予算

〇組合予算の歳入内訳(平成24年度)

(単位:千円)

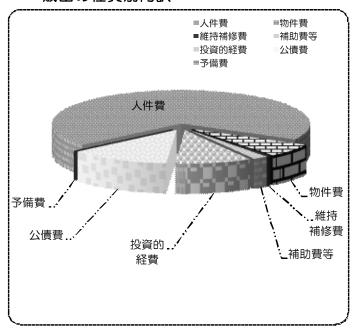
区分		本年度予算額	前年度予算額	増減額	構成比
/\ta\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	共通経費	1,566,645	1,502,093	64,552	76.46%
分担金及び負担金	単独経費	269,395	290,638	△ 21,243	13.15%
使用料及び手数料		4,738	5,600	△ 862	0.23%
国庫支出金		0	0	0	0.00%
財産収入		1,600	300	1,300	0.08%
寄付金		1	1	0	0.00%
繰越金		1	1	0	0.00%
諸収入		12,978	12,790	188	0.63%
組合債		173,100	14,300	158,800	8.45%
県支出金		20,484	14,936	5,548	1.00%
合計		2,048,942	1,840,659	208,283	100.0%

○組合予算の歳出内訳(平成24年度)

(単位:千円)

区分	本年度予算額	前年度予算額	増減額	構成比
議会費	1,284	1,304	Δ 20	0.1%
総務管理費	3,649	2,805	844	0.2%
監査委員費	15	15	0	0.0%
常備消防費	1,492,812	1,450,434	42,378	78.8%
非常備消防費	85,630	85,567	63	4.6%
消防施設費	206,380	33,108	173,272	1.8%
水防費	530	630	△ 100	0.0%
公債費	257,942	266,096	△ 8,154	14.5%
予備費	700	700	0	0.0%
合計	2,048,942	1,840,659	208,283	100.0%

歳出の性質別内訳



項目	予算額(単位:千円)	構成比
人件費	1,412,799	69.0%
物件費	132,855	6.5%
維持補修費	9,887	0.5%
補助費等	37,979	1.8%
投資的経費	196,900	9.6%
公債費	257,822	12.6%
予備費	700	0.0%
合計	2,048,942	100.0%

消防職員の配置状況

平成24年4月1日現在

消防長 1 1 2 2 2 2 0 0 1 1 1 2 2 0 0 1 1 1 2 2 0 0 1 1 1 2 2 0 0 1 1 1 2 2 1 1 1 1					平成24年4 										
A								消	防吏員						
		Σ	☑分	合計	防	防司	防司	防	防 士	防 副	消防士	#	\mathcal{O}	計	
次長 2 2 2 0 0 1 1 2 2 0 0 1 1 2 2 0 0 1 1 2 2 0 0 1 1 1 2 1 1 1 1		Ć	含計		1	15(3)	29	42 [1](2)	31	10	17	145 [1](5)	3	3	
企画幹 1 1 1 2[1] 2 6[1] 2 2 7 6[1] 2 2 7 7 6 7 8 8 7 7 7 7 6 7 8 8 7 7 8 7 8 7		消防县	<u>.</u>	1	1							1		0	
一部		次長		2		2						2		0	
おいけん		企画草	幹	1								0	1	1	
 所法 一部 <	消	総務語	#	8[1]		1	1	2[1]	2			6[1]	2	2	
部 響防課 6 2 2 2 2 6 6 0 0 指令情報課 11 3 1 4 3 11 0 0 11 0 0 11 0 0 0 1 1 1 0 0 0 1 1 1 0 0 0 1 1 1 0 0 0 1 1 1 0 0 0 1 1 1 0 0 0 1 1 1 0 0 0 1 1 1 0 0 0 1 1 1 0 0 0 1 1 1 0 0 0 1 1 1 0 0 0 1 1 1 0 0 0 1 1 1 0 0 0 1 1 1 0 0 0 1 1 1 0 0 0 0 1 1 1 0 0 0 0 1 1 1 0 0 0 0 1 1 1 0 0 0 0 1 1 1 0 0 0 0 1 1 1 0 0 0 0 1 1 1 0 0 0 0 1 1 1 0 0 0 0 1 1 1 0 0 0 0 1 1 1 0 0 0 0 1 1 1 0 0 0 0 1 1 1 0 0 0 0 1 1 1 0 0 0 0 1 1 1 0 0 0 0 1 1 1 0 0 0 0 1 1 1 0 0 0 0 0 1 1 1 0 0 0 0 0 1 1 1 0 0 0 0 1 1 1 0 0 0 0 0 1 1 1 0	防	予防語	 果	5		2		1	1		1	5		0	
消防学校入校 4	部	警防調	# #	6		2	2	2				6		0	
小計 38[1] 1 10 4 9[1] 6 0 5 35[1] 3 3 3 3 3 3 3 3 3		指令的	 青報課	11		3	1	4	3			11		0	
当		消防	学校入校	4							4	4		0	
中 市 市 市 市 市 市 市 市 市			小計	38[1]	1	10	4	9[1]	6	0	5	35[1]	3	3	
予防指導課			消防署長	(1)		(1)						(1)		0	
下の音号は 13(1) 3 4(1) 3 3 13(1) 0 消防第 2 課 13(1) 3 5(1) 3 1 1 13(1) 0 小計 35(3) 0 1(1) 8 10(2) 8 3 5 35(3) 0 0 川部 35(3) 0 1(1) 8 10(2) 8 3 5 35(3) 0 0 川部 35(3) 0 1(1) 8 10(2) 8 3 5 35(3) 0 0 川部 5(1) (1) 1 2 2 5(1) 0 消防第 1 課 11 3 4 1 2 1 11 0 川田分署 9 3 2 3 1 9 0 川田分署 9 3 2 3 1 9 0 川田分署 9 3 2 3 1 1 0 河野名 1 1 1 3 1 1 6(1) 0 河野分署 9 2 3 3 1 9 0 河野分署 9 2 3 3 1 9 0 河野分署 9 0 0 0 0 0 河野分署 9 0 0 0 0 0 河野分署 9 0 0 0 0 0 0 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本			副署長	1		1						1		0	
消防第2課 13(1)		防	予防指導課	8			2	1	2	2	1	8		0	
小計 35(3) O 1(1) 8 10(2) 8 3 5 35(3) O O O 消防署長		署	消防第1課	13(1)			3	4(1)	3		3	13(1)		0	
消防署長 1 1 1 0 0 1 0 0 1 0 0 1 0 0 1 0 0 1 0 0 1 0 0 1 0 0 1 0 0 1 0 0 1 0 0 0 0 1 0			消防第2課	13(1)			3	5(1)	3	1	1	13(1)		0	
調響長 1 1 1 2 2 5(1) 0 消防第1課 11 3 4 1 2 1 11 0 消防第1課 11 3 4 1 2 1 11 0 油田分署 9 3 2 3 1 9 0 小計 38(1) 0 2(1) 9 11 7 5 4 38(1) 0 0 消防署長 1 1 1 7 5 4 38(1) 0 0 消防署長 1 1 1 1 1 0 調防第日課 6(1) (1) 1 3 1 1 6(1) 0 消防第1課 10 3 4 2 1 10 0 消防第2課 10 3 4 2 1 10 0 消防第2課 10 3 4 2 1 10 0 消防第2課 10 3 4 2 1 10 0 河野分署 9 2 3 3 1 9 0			小計	35(3)	0	1(1)	8	10(2)	8	3	5	35(3)	0	0	
消防署 予防指導課 5(1) (1) 1 2 2 5(1) 0 消防第 1 課 11 3 4 1 2 1 11 0 油田分署 9 3 2 3 1 9 0 小計 38(1) 0 2(1) 9 11 7 5 4 38(1) 0 0 消防署長 1 1 1 1 0 0 消防第1課 6(1) (1) 1 3 1 1 6(1) 0 消防第 1課 10 3 4 2 1 10 0 消防第2課 10 3 4 2 1 10 0 河野分署 9 2 3 3 1 9 0			消防署長	1		1						1		0	
消防署 消防第1課 11 3 4 1 2 1 11 0 消防第2課 11 3 4 1 1 2 11 0 池田分署 9 3 2 3 1 9 0 小計 38(1) 0 2(1) 9 11 7 5 4 38(1) 0 0 消防署長 1 1 1 1 1 0 海路長 1 1 1 3 1 1 6(1) 0 消防第1課 10 3 4 2 1 10 0 消防第2課 10 3 4 2 1 10 0 河野分署 9 2 3 3 1 9 0		事	副署長	1		1						1		0	
下 選 当防第2課 11 3 4 1 1 2 11 0 池田分署 9 3 2 3 1 9 0 小計 38(1) 0 2(1) 9 11 7 5 4 38(1) 0 0 消防署長 1 1 1 0 1 0 0 副署長 1 1 1 0 0 0 予防指導課 6(1) (1) 1 3 1 1 6(1) 0 0 消防第1課 10 3 4 2 1 10 0 0 河野分署 9 2 3 3 1 9 0			予防指導課	5(1)		(1)		1	2	2		5(1)		0	
署 消防第2課 11 3 4 1 1 2 11 0 0 2 1 1 9 0 0 1 1 7 5 4 38(1) 0 0 0 1 1 7 5 4 38(1) 0 0 0 1 1 7 5 4 38(1) 0 0 0 1 1 7 5 4 38(1) 0 0 0 1 1 7 5 4 38(1) 0 0 0 1 1 1 0 0 1 1 0 0 1 1 0 0 1 1 0 0 0 1 1 0 0 0 1 1 0 0 0 1 1 0 0 0 0 1 1 0 0 0 0 1 1 0	消防	防 署	消防第1課	11			3	4	1	2	1	11		0	
小計 38(1) 0 2(1) 9 11 7 5 4 38(1) 0 0 消防署長 1 1 1 1 0 副署長 1 1 1 0 予防指導課 6(1) (1) 1 3 1 1 6(1) 0 消防第1課 10 3 4 2 1 10 0 消防第2課 10 3 4 2 1 10 0 河野分署 9 2 3 3 1 9 0			消防第2課	11			3	4	1	1	2	11		0	
消防署長 1 1 1 0 副署長 1 1 1 0 予防指導課 6(1) (1) 1 3 1 1 6(1) 0 消防第1課 10 3 4 2 1 10 0 消防第2課 10 3 4 2 1 10 0 河野分署 9 2 3 3 1 9 0			池田分署	9			3	2			1	9		0	
南 消防 防 電 1 1 1 0 予防指導課 6(1) (1) 1 3 1 1 6(1) 0 消防第1課 10 3 4 2 1 10 0 消防第2課 10 3 4 2 1 10 0 河野分署 9 2 3 3 1 9 0			小計	38(1)	0	2(1)	9	11	7	5	4	38(1)	0	0	
南消防署 予防指導課 6(1) (1) 1 3 1 1 6(1) 0 消防第 1 課 10 3 4 2 1 10 0 消防第 2 課 10 3 4 2 1 10 0 河野分署 9 2 3 3 1 9 0					Щ									0	
消防第1課 10 3 4 2 1 10 0 消防第2課 10 3 4 2 1 10 0 河野分署 9 2 3 3 1 9 0		南												0	
署 消防第2課 10 3 4 2 1 10 0 河野分署 9 2 3 3 1 9 0		消				(1)				1	1			0	
河野分署 9 2 3 3 1 9 O		阪 署									1			0	
			消防第2課								1	10		0	
小計 37(1) 0 2(1) 8 12 10 2 3 37(1) 0 0														0	
			小計	37(1)	0	2(1)	8	12	10					0	

※()は兼任、[]は派遣

消防職員の勤続年数

平成24年4月1日現在

					消防吏員				吏員	<u>在</u> 職	
区分	合計	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	以外の職員	別構成比(%)	
合計	148	1	15	29	42	31	10	17	3		
1年未満	5							5		3.4	
1年以上2年未満	7							5	2		
2年以上3年未満	4						2	2		2.7	
3年以上4年未満	3						1	2		2.0	
4年以上5年未満	3						1	2		2.0	
5年以上6年未満	2						2			1.4	
6年以上7年未満	2						1	1		1.4	
7年以上8年未満	5					2	3			3.4	
8年以上9年未満										0.0	
9年以上10年未満										0.0	
10年以上11年未満										0.0	
11年以上12年未満	3					3				2.0	
12年以上13年未満	4					4				2.7	
13年以上14年未満	5					5				3.4	
14年以上15年未満	5				3	2				3.4	
15年以上16年未満	4				1	3				2.7	
16年以上17年未満	4				2	2				2.7	
17年以上18年未満	4				3	1				2.7	
18年以上19年未満	8				4	4				5.4	
19年以上20年未満	6				4	2				4.1	
20年以上21年未満	4				4					2.7	
21年以上22年未満	3				3					2.0	
22年以上23年未満	3				2	1				2.0	
23年以上24年未満	3	Ì			3					2.0	
24年以上25年未満	5	Ì		2	3					3.4	
	1				1					0.7	
	3				3					2.0	
										0.0	
		$\overline{}$	$\neg \neg$							0.0	
29年以上30年未満										0.0	
30年以上31年未満										0.0	
31年以上32年未満	8			7	1					5.4	
32年以上33年未満	3			2	·				1		
33年以上34年未満	4		2	2					<u> </u>	2.7	
34年以上35年未満	3		3							2.0	
35年以上36年未満	8		3	3	2					5.4	
36年以上37年未満	1		J	1						0.7	
37年以上	25	1	7	12	3	2				16.9	
O1 + W L	2.5	'	1	۱۷	3		T#1 -	亚拉勒丝			

職員平均勤続年数21.1年

消防職員の年齢区分

平成24年4月1日現在

				月10現位						
					消防吏員				吏員	在 職
区分	合計	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	貝以外の職員	別構成比(%)
合計	148	1	15	29	42	31	10	17	3	
18歳未満	0									0.0
18歳	0									0.0
19歳	1							1		0.6
20歳	2							2		1.4
21歳	0									0.0
22歳	3							3		2.0
23歳	5							5		3.4
2 4 歳	3							3		2.0
25歳	3							3		2.0
26歳	2						2			1.4
27歳	3						3			2.0
28歳	2						2			1.4
29歳	2						2			1.4
30歳31歳	0						1			0.6
3 2 歳	3					3				0.0 2.0
33歳	1					1				0.6
34歳	7					7				4.8
35歳	3					3				2.0
36歳	8				4					5.4
37歳	8				4					5.4
38歳	7				4					4.8
39歳	4				2					2.7
4 0 歳	7				6				1	4.8
4 1 歳	3				3					2.0
4 2 歳	4				3					2.7
43歳	2				1					1.4
4 4 歳	3				3					2.0
45歳	1				1					0.6
46歳	2				2					1.4
47歳	2			2						1.4
48歳	2				2					1.4
49歳	8			7	1					5.4
50歳	3			2	1					2.0
5 1 歳	3		1	2						2.0
5 2 歳	3		2						1	2.0
5 3 歳	4		1	2	1					2.7
5 4 歳	2		1		1					1.4
55歳	5		3	2						3.4
56歳	2		1	1						1.4
57歳	4		1	2					1	2.7
58歳	9			7	1	1				6.0
59歳	11	1	5	2	2	1				7.4
60歳以上	0									0.0

職員平均年齢41.9歳

平成24年4月1日現在

											1日現在
		階級別等				消防吏員	ļ			吏	
	資格		消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	る員以外の職員	計
		大型特殊		2	7	13	6				28
		大型1種	1	8	19	35	21	3	3		90
_	運	中型1種					2	2	2		6
車両	転免	普通1種	1	15	29	42	31	10	17	3	148
関係	許	普通2種		1		1					2
係		自動二輪		4	11	22	6	1	2	1	47
		牽引				1	1				2
	車両	系建設機械			2	5					7
	予防	技術資格者(防火査察)	1	8	7	3	4				23
		技術資格者(消防用設備)	1	8	7	4	6				26
		技術資格者(危険物)	1	2	1	1					5
		物取扱者(甲種)					1				1
	_	物取扱者(乙種)	1	14	20	24	8	6	15	1	89
l_		物取扱者(丙種)			4	4	2		2		12
予防		設備士(甲種)			2						2
関	_	設備士(乙種)		4	5	4		1			14
係	測量			1	2	1					4
		士(2級)		1	2	,					3
		類取扱保安責任者		1		1					2
		類取扱責任者		1							1
	_	ガス製造保安責任者			1						1
		物取扱責任者				1					1
		救命士		2	3	16	5				26
		手当指導員		8	25	27	12	1	1		74
		Ⅱ課程		10	20	8	2				40
	救急			10	6	28	19	5	1		59
	潜水			3	7	15	11	1	2		39
	_	<u>+</u> 安全救助員		1	2	4	10	1			18
		等 特殊無線技士		3	10	9	3	2	7		34
		特殊無線技士		0	3	3	3		,		
警	_	溶接技能者		4	6	8	2				6
防関		ク溶接技能者		1	2	13	4	1			20
係	_	ーン運転士			1	13	4		1		21 3
		下げ荷重5 t 未満クレーン運転士			1	3	1			1	6
		移動式クレーン運転技能者		4	13	23	14	2		'	56
		技能者		5	15	22	18	1	1		62
1		文形	1	5	15	10	8		1		40
		化学物質等作業主任者	'	1	3	5	0		1		9
	10711	小型船舶操縦士		3	3	6	7				19
		ークリフト運転技能者		1	7	18	5	2			133333333333333333333333333333333333333
		管理者(第1種)			1	2	1			4	33
1		高生推進者 第生推進者	1	0	1					1	10
	防災		1	8	1	4					10
そ		エ ラー技士(2級)		2	2	1					3
の				3	1	4					4
他		チュア無線技士		1	1	4					6
		工事士				1			2		3
		操作式クレーン運転技能者 コプタープライベートパイロットライセンス			4	1		1			2
	ハリー	コンターノフィ ハートハイ ロットフイセンス		16	1						l I

消防音楽隊

消防音楽隊は、昭和50年6月に結成されて以来、消防職・団員の士気高揚を図るとともに、消防の諸行事、式典をはじめ、管内の各種行事等に出場し、演奏活動を通じて広く住民と接することにより、防火 思想の普及啓発に努めています。

また、平成2年10月からは、女性消防団員としての身分を有するカラーガード隊を編成し、より効果的な広報活動を展開しています。

〇階級 • 年齢別隊員構成

平成24年4月1日現在

区分	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	計
20歳未満						
20歳~24歳					4	4
25歳~29歳				5	1	6
30歳~34歳			4			4
35歳~39歳		5	4			9
40歳以上						
計		5	8	5	5	23

(日勤者4名、隔日勤務者19名)

○楽器編成

平成24年4月1日現在

楽器名	数	楽器名	数	楽器名	数
トランペット	5	マーチングチューバ	2 =-	ボード	1
テナーサックス	2	クイントタム	1		
アルトサックス	3	バスドラム	1		
トロンボーン	2	ドラムセット	1		
マーチングメロフォン	3	グロッケン	1		

〇活動状況(平成23年中)

活動区分			派遣演	奏等		計
泊勤区力	訓練等	消防関係	市町関係	その他	小計	āl
活動数	40	8	2	3	1	3 53



集合写真



パレード風景

予防関係

防火対象物の現況

平成24年4月1日現在

	ſ	가나나하셨었다.	防災管理者		防火対象物		左記0)うち!	中高層		物数(「		
	ļ	防火対象物の区分	選任義務 事業所数	選任義務事業所数	の棟数	3	4	5	6	7	8	9	計
1項	1	劇場・映画館等		1	1		1						1
垻		公会堂•集会場		178	206	7		1					8
2項		遊技場・ダンスホール		18	19								0
Z坝 	=	カラオケボックス等		2	2								0
3項	1	待合•料理店等		37	37	9	1	1					11
5垻 		飲食店		77	100	11	2						13
4項		百貨店・マーケット等		140	194	16	8	3	2				29
C 15	イ	旅館・ホテル等		25	52	7		5	2				14
5項		寄宿舎・共同住宅等		61	429	89	44	31	2	1	1		168
	イ	病院・診療所等		30	55	13	6	2	3	1			25
O 17		グループホーム等		23	31	1	2	4	1		2		10
6項	/\	老人デイサービスセンター等		69	87	6							6
	=	幼稚園等		18	18								0
7項		小・中・校・大学等		44	133	61	7						68
8項		図書館・博物館等		10	18	1							1
9項		その他の公衆浴場		9	9								0
10項		車両の停車場等		2	3	1							1
11項		神社•寺院等		58	187	3							3
12項	1	工場・作業場等	3	84	979	59	11	2	1	4			77
13項	1	自動車車庫等			44								0
14項		倉庫		4	454	30	3	2					35
15項		前各項に該当しない事業所		77	448	71	21	4	3				99
40 1	1	特定用途を含む 複合防火対象物	1	192	389	149	22	9	2	2		1	185
16項		上記以外の 複合用途対象物		30	168	59	10						69
17項		重要文化財等			5								0
18項		延長50m以上の アーケード			4								0
		it it	4	1,189	4,072	072 593 138 64 16 8 3 1						823	

消防用設備等の設置状況

平成24年4月1日現在

	消防				洋	肖火設(苗					警報	設備		避難	設備		成 2 4 その他		防火 防火 性能 有する	安全
区分	用設備等	屋内消火栓設備	スプリンクラー 設備	水噴霧消火設備	ハロゲン化物消火設備	不活性ガス消火設備	泡消火設備	粉末消火設備	屋外消火栓設備	動力消防ポンプ設備	自動火災報知設備	火災通報装置	非常警報設備	漏電火災警報器	避難器具	誘導灯	消防用水	連結送水管	排煙設備	パッケージ型自動消火設備	パッケージ型消火設備
1項	1		1					1			1		1		1	1	1	1			
		12	1	2			1	2			70	3	77		9	29			1		2
2項		3						1			16		11		3	17					
	=	Н					Ш				2		1			2					Ш
3項	1	1		1				2			26		1		12	35					
4.77		2				Н	Н				21		27	1	15	68					Щ
4項		15	10	2				3	4		124		42		9	164	1	2			2
5項	7	1		Н		Н	Н		1		33	10	8	2	7	48				\vdash	Н
		10		4				1			68 42	10	30	2	84	14		3		4	
	7	-	5	1			2	1		-1		19	5 5	2 2	14	44		2		1	
6項	ハ	7 2	31 6					1 2		1	30 69	30 31	23	2	8 15	31 72	2	2 1		1	
	\vdash	3	0								18	31	23 8		15	16					4
7項	<u> -</u>	76	1				\vdash		1		109	1	29		39	19	1				1
8項		2	'								9	'	1		00	3					
9項				Н		Н	Н	1			2	1	1			0		Н		Н	1
10項		\vdash									2				1						
11項		2									12		18		2	5					
12項	1	207	1	9	3	2	4	36	13	11	513		Δ1		6	90	4	6			5
13項	1	П		3		1		1			6										
14項		57	1	2				10	2	5	194		2			48		1			3
15項		25		5	4	1		3			114	2	24		16	55	1				
4.07	1	17	7				1	1			141	9	61	1	39	247	1	6			2
16項		3		3				6			21		3		4	13			1		
17項											5										
18項																					
計		449	64	28	7	4	8	71	21	17	1,648	106	377	10	285	1,021	11	24	2	2	20

消防法・火災予防条例に基づく各種届出状況

平成23年度中

市町別種 別	計	越前市	池田町	南越前町
防災管理者選任(解任)届	0			
防火管理者選任(解任)届	106	80	4	22
消防計画作成(変更)届	129	98	4	27
防火対象物点検結果報告書 (特例認定申請を含む)	59	46		13
防災管理点検結果報告書 (特例認定申請を含む)	3	3		
自衛消防組織設置(変更)届	2	2		
消防用設備等着工届	86	71	4	11
消防用設備等設置届	153	124	6	23
消防用設備等点検結果報告書	737	524	49	164
液化石油ガス等貯蔵・取扱届	7	6		1
液化石油ガス設備工事届	2			2
毒・劇物貯蔵等届	14	14		
防火対象物使用開始届	78	64	2	12
自衛消防訓練通知書	367	303	9	55
火を使用する設備等の設置届	25	19		6
発電・変電・蓄電池設備設置届	30	25		5
ネオン管灯設備設置届	1	1		
水素ガスを充てんする気球の設置届	6	6		
火災とまぎらわしい行為の届	72	57	5	10
煙火打上げ・仕掛け届	45	36	7	2
催物開催届	49	38		11
水道用排水路断水届	5	1	1	3
道路占有•工事等届	228	124	10	94
少量危険物等貯蔵取扱い届	23	15	2	6
少量危険物タンク検査申請	1			1
禁止行為の解除承認申請	16	16		
消防設備業届	1	1		
≣†	2,245	1,674	103	468

危険物施設の設置状況

平成24年4月1日現在

K	市町別分	越前市	池田町	南越前町	計	施設の増減 (昨年同期と比較)
製造	所	13			13	△ 1
	屋内貯蔵所	66		5	71	
	屋外タンク貯蔵所	112		2	114	1
	屋内タンク貯蔵所	10		2	12	Δ2
貯蔵所	地下タンク貯蔵所	100	13	38	151	△ 4
所	簡易タンク貯蔵所	2			2	
	移動タンク貯蔵所	55		13	68	1
	屋外貯蔵所	12		4	16	
	小計	357	13	64	434	△ 4
	給油取扱所	59	4	10	73	Δ 1
	販売取扱所				0	
取 扱 所	移送取扱所				0	
	一般取扱所	68	2	2	72	Δ2
	小計	127	6	12	145	Δ3
	<u></u>	497	19	76	592	△ 8

危険物関係各種事務処理状況

平成23年度中

	朱山				貯蔵所					取劫	 及所		そ	23年度中			
区分種別	製造所	屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	給油取扱所	販売取扱所	移送取扱所	一般取扱所	での他	計			
設置許可	1	1	2				8	1						13			
変更許可	5		5		3		3		12			46		74			
完成検査(設置)		1	2				7	1						11			
完成検査(変更)	8		6		2		3		13			47		79			
完成検査前検査			1	2					4				1	8			
仮使用	6		6		1				11			46		70			
仮貯蔵・仮取扱													3	3			
制定認可														0			
変更認可	1								1			1		3			
種類・数量変更届	2	8	1				1					6		18			
譲渡引渡届					1		1		2					4			
廃止届	1	1	1	2	4		6	1	1			2		19			
保安監督者選解任届	5	4	12					3	33			3		60			
立入検査実施状況	9	5	13	15	37	2	76	3	43			50		253			
≣†	38	20	49	19	48	2	105	9	120	0	0	201	4	615			

建築物同意状況

平成23年中

								1 /2 4	23年中
		防火対象物等の区分	新築	増築	改築	用途 変更	模様替	計画通知	計
4 17	1	劇場・映画館等						1	1
1項		公会堂•集会場		1					1
	1	キャバレー・カフェー等							0
O.F.		遊技場・ダンスホール							0
2項	/\	風俗営業等							0
	=	カラオケボックス等							О
OIF.	1	待合•料理店							0
3項		飲食店		2					2
 4項		百貨店・マーケット等	7	1					8
C I T	1	旅館・ホテル等							О
5項		寄宿舎・共同住宅等	4						4
	1	病院・診療所等	3	1					4
or∓.		グループホーム等	1	4					5
6項	/\	者人デイサービスセンター等		3		1			7
	Ξ	幼稚園等							О
7項		小・中・高・大学等	2	2					4
8項		図書館・博物館等		1					1
OTE.	1	蒸気浴場・熱気浴場等							Ο
9項		その他の公衆浴場							О
10項		車両の停車場等							О
11項		神社•寺院等	4	1					5
12項	1	工場•作業場等	3	16		1			20
13項	1	自動車車庫等	1			1			2
10項		飛行機等の格納庫等							Ο
14項		倉庫	4	5					9
15項		前各号に該当しない事業場	8	4				1	13
16項	1	特定用途を含む複合用途防火対象物	1	4	1				6
TO項		上記以外の複合用途防火対象物	1						1
専用住宅		28	2					30	
その他			13	6					19
		ā†	83	53	1	3	0	2	142
工作物									0

消防関係各種講習会等の状況

平成23年中

								十成とり千千
	対 象		地区住民			防火対象物		合計
内容		住民	自警消防隊 消防団	独居老人	事業所等	幼稚園 保育園	高等学校 小•中学校	□ ō l
防火講習	回数	30	3		20	1	1	55
	人数	581	116		665	15	57	1,434
訓練指導	回数	62	10		2			74
訓褓拍等	人数	5,322	253		74			5,649
避難訓練	回数				101	32	38	171
处于美压市川市宋	人数				3,918	3,337	9,641	16,896
上級救命講習	回数							0
上放牧叩祷台	人数							0
普通救命講習 [回数	12	5		36		2	55
	人数	184	135		719		16	1,054
普通救命講習Ⅱ	回数							О
	人数							0
その他の	回数	44	1		22	7	37	111
救急講習	人数	2,705	8		938	185	1,425	5,261
防火查察	世帯(件)	5,870		233	262	3	11	6,379

※上記のほかに、各種イベントに併せて防火展の開催及び火災予防運動期間中に防火パレードを実施。

また、市町広報紙を活用しての防火広報を実施。

(単位:回数⇒回 人数⇒人)

警防関係

平成23年中

														平成2	3年中
区分	<u></u>	月別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
件数((件)		2	2	4	2	1	1	1	2	1	4	4	3	27
	消防	署	12	12	17	10	5	5	6	6	6	17	17	12	125
	消防	J	0	2	4	3	3	4	1	1	4	5	1	4	32
出場車両等	自警自衛	隊 隊	1	2	4	2	1	0	1	0	1	1	1	1	15
等[台]	応援出動	応援	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	等[署]	受援	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	4
		計	13	17	25	15	9	9	8	7	11	26	19	17	176
	消防署		43	45	65	38	13	19	22	24	19	67	64	45	464
	消防	団	0	24	44	28	11	48	13	15	17	34	24	28	286
出場人員	自警自衛	隊 隊	7	15	22	16	8	12	1	8	2	5	8	6	110
人]	応援出動	応援	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	等[署]	受援	0	3	0	0	0	0	0	0	0	10	0	0	13
		計	50	87	131	82	32	79	36	47	38	116	96	79	873
一件当	車両	等(台)	6.5	8.5	6.3	7.5	9.0	9.0	0,0	3.5	11.0	6.5	4.8	5.7	6.5
件当り平均	人員	(人)	25.0	43.5	32.8	41.0	32.0	79.0	0.0	23.5	38.0	29.0	24.0	26.3	32.3

平成24年4月1日現在

	T.E.	+=2	+14	** 72		平成24年4月1日現在
	所属	車両名	車種	社名	初年度登録	排気量(cc)
		南越1号車	A-2級CD-1型 (四駆)	日野	H21.03.10	4,000
		南越2号車	A-2級CD-1型 (四駆)	いすゞ	H07.12.19	4,570
	l	南越水槽1号車	A-2級水1-A型	いすゞ	H06.12.22	7,120
	中消防署	南越水槽2号車	10t積水B-3級ポンプ積載	いすゞ	H08.12.24	9,839
	l	南越化学1号車	A-2級化学車Ⅱ型	いすゞ	H09.02.07	8,220
		南越梯子1号車	30m級梯子車	日野	H01.11.27	9,410
消		南越救助1号車	救助工作車Ⅱ型(四駆)	日野	H07.08.28	7,412
防		南越3号車	A-2級CD-1型 (四駆)	三菱	H06.01.26	3,560
ポ	東消防署	南越救助2号車	A-2級CD-II型 (四駆)	いすゞ	H11.02.04	8,220
ンプ	米月四百	南越化学2号車	A-2級化学車Ⅱ型(四駆)CAFS	日野	H23.02.17	6,400
É		南越梯子2号車	15mA-2級梯子車	日野	H10.02.04	7,960
動	油田八里	南越4号車	A-2級CD-1型 (四駆)	いすゞ	H07.12.19	4,570
車	池田分署	南越水槽3号車	A-2級水1-A型	日産	H19.02.26	6,400
		南越5号車	A-2級CD-1型 (四駆)	いすゞ	H09.03,17	4,570
	l	南越7号車	A-2級CD-1型 (四駆)	いすゞ	H03.02.28	3,630
	南消防署	南越水槽4号車	A-2級水1-A型 (四駆)CAFS	日野	H22.02.23	6,400
		南越救助3号車	A-2級CD-I型 (四駆)	いすゞ	H12,02,23	8,220
		南越6号車	A-2級CD-1型 (四駆)	いすゞ	H06,12,20	4,330
	河野分署	南越水槽5号車	A-2級水1-A型	日野	H18.02.24	6,400
		中署小型 1	C-1級	シバウラ	H3年製	13馬力
		中署小型 2	C-1級 C-1級	シバウラ	H12年製	15馬力
	中消防署	中署小型 3		-		53馬力
	十月四者		B-3級 ポンプエンジンセル・ト	トーハツ	H8年製	
		林野火災用ポンプ	ボンブエンジンセット	ラビット	H14年製	8馬力
		林野火災用ポンプ	ポンプエンジンセット	ラビット	H17年製	8馬力
川		東署小型 1	C-1級	シバウラ	S63年製	13馬力
型 動	東消防署	林野火災用ポンプ	ポンプエンジンセット	キンパイ	H5年製	7馬力
力		林野火災用ポンプ	ポンプエンジンセット	キンパイ	H10年製	7馬力
ポ	池田分署	池田小型 1	C-1級	トーハツ	H9年製	15馬力
ンプ	,00,70	林野火災用ポンプ	ポンプエンジンセット	トーハツ	H18年製	8馬力
)	l	南署小型 1	C-1級	シバウラ	H13年製	15馬力
	南消防署	南署小型 2	C-1級	ラビット	H7年製	15馬力
		林野火災用ポンプ	ポンプエンジンセット	キンパイ	H6年製	7馬力
		林野火災用ポンプ	ポンプエンジンセット	ラビット	H17年製	8馬力
	河野分署	河野小型 1	C-1級	シバウラ	H8年製	15馬力
	沙野刀者	林野火災用ポンプ	ポンプエンジンセット	ホンダ	H4年製	7馬力
	中 洲中田	南越救急1号車	高規格救急車 (四駆)	トヨタ	H12.03.29	3,370
	中消防署	南越救急2号車	高規格救急車 (四駆)	トヨタ	H21.03.18	2,690
	± >\\\ 2± FB	南越救急3号車	高規格救急車(四駆)	トヨタ	H11.02.26	3,370
救	東消防署	南越救急4号車	2B型(四駆)	トヨタ	H17.02.17	3,370
急車	池田分署	南越救急5号車	高規格救急車 (四駆)	トヨタ	H18.01.16	3,370
-		南越救急6号車	高規格救急車(四駆)	トヨタ	H12.07.19	3,370
	南消防署	南越救急7号車	高規格救急車 (四駆)	トヨタ	H22.07.08	2,690
	河野分署	南越救急8号車	高規格救急車 (四駆)	トヨタ	H19.02.16	2,690
	. 32,72	南越指令1号車	普通車 (四駆)	三菱	H20.02.20	2,970
		南越指令2号車	普通車 (四駆)	トヨタ	H09.11.14	4,160
		南越支援1号車	支援車Ⅲ型(マイクロバス)	三菱	H21.02.12	4,890
指	l	南越広報1号車	普通車(バン)	トヨタ	H10.08.28	2,770
令						
車	消防本部	南越広報2号車	普通車 (乗用)	トヨタ	H06.05.29	2,990
· 支	中消防署	南越広報3号車	軽自動車 (バン)	スバル	H22.09.14	650 650
援		南越広報4号車	軽自動車(バン)	ダイハツ	H14.08.28	650
車		南越広報5号車	軽自動車(バン)	ダイハツ	H18.07.19	650
• 広		南越広報6号車	軽自動車 (トラック)	ダイハツ	H03.12.25	650
報		南越搬送2号車	普通車 (トラック)	トヨタ	H09.11.13	2,770
車		南越搬送3号車	軽自動車 (トラック)	ダイハツ	H15.09.30	650
• 搬	東消防署	南越指令3号車	小型車(四駆)	トヨタ	H19.09.26	2,690
^恢 送	- 15/13/5/3	南越搬送4号車	作業車(トラック)	トヨタ	H19.07.12	2,980
車	池田分署	南越指令4号車	小型車 (四駆)	三菱	H14.08.29	2,970
	南消防署	南越指令5号車	小型車(四駆)	トヨタ	H15.08.29	2,690
	田川川首	南越搬送5号車	作業車(トラック)	トヨタ	H10.06.23	2,770
	河野分署	南越指令6号車	小型車 (四駆)	トヨタ	H08.09.18	4,160
-						

平成24年4月1日現在

							野電	試状況 / () (大非年	学備	1/2/2	1 1 1/3	1日現在
区分			†	中消	防署	東消	防署	池田			防署	河野	分署
	粉末消火器(20型)	24		8		5		3		5		3	
	化学消火薬剤(スス)	3,760		1,440		740		160		1,240		180	
火薬	流出油処理剤(沉)	462		162		108		72		60		60	
剤	高膨張泡発生機	8		2		2		1		2		1	
等	背負式水のう	100	(184)	29	(11)	21	(16)	13	(37)	20	(98)	17	(22)
	石けん系環境保全型消火剤	230		0		140				90			
	バスケット担架	7		2		1		1		2		1	
	三連梯子	10		3		2		1		3		1	
	フォグガン	15		6		4		1		3		1	
	特殊ノズル(クワトラ、ターホシェット)	18		6		7		1		3		1	
	排煙送風機	1		1									
	救命索発射銃	6		3		1				1		1	
	救命胴衣	105	(679)	60	(350)	29	(87)	8	(54)		(137)	8	(51)
	救命ボート	6		2		1		1		1		1	
	船外機	1		1									
	空気式救助マット	3		1		1				1			
	マット型空気ジャッキ	3		1		1				1			
	空気鋸	3		1		1				1			
	アークエアー	1		1									
	チェーンソー	6	(15)	4		1			(4)	1	(8)		(3)
	エンジンカッター	5		1		1		1		1		1	
	削岩機	1		1									
	携帯コンクリート破壊器具	3		1		1				1			
救	万能斧	23		10		6		2		4		1	
助用	大型油圧救助器具セット	4		2		1				1			
機	酸素(循環式)呼吸器	12		4		4				4			
材	空気呼吸器	75		31		16		8		12		8	
等	発電機付投光器	13	(19)	3	(2)	4	(4)	1	(6)	4	(5)	1	(2)
	放射線測定器	4	11.07	3	(/		(0)		(0)	1	(
	可燃性ガス・酸素濃度測定器	9		3		2		1		2		1	
	ポケット線量計	55		20		10		5		10		10	
	携帯警報器	15		5		5				5			
	RI防護服(耐熱服)	10		6		2				2			
	RI防護服(インナー式)	5		5									
	耐電衣	2		2									
	潜水具	9		9									
	防毒衣	7		7									
	陽圧式化学防護服	10		10									
	簡易化学防護服	5		5									
	携帯用拡声器	22	(50)	6	(12)	7	(15)	2	(7)	5	(15)	2	(1)
	簡易画像探査機	1	,50/	1	, . <u>_</u> /		, . Ο,		(17	Ĭ	, . Ο,		\ \ \ /
	ショートボード	3		1		1		$\overline{}$		1	\vdash		
	バーチカルストレッチャー	3		1		1				1			
	バッテリー式救助器具	1		1		<u> </u>				<u> </u>			
Н	患者監視モニター	10		2		3		1		3	\vdash	1	
	除細動器	8		2		2		1		2	\vdash	1	
	輸液ポンプ	7		2		1		1		2		1	
	ショックパンツ(大小)	5		1		1		1		1		1	
救	心電図等伝送装置	2				<u>'</u>		1		<u> </u>	$\overline{}$	1	
,0,	携帯用人工蘇生器	2				1						1	
材	車載用人工蘇生器	9		2		2		1		3		1	
等	吸引器	9		2		2		1		3	$\vdash \vdash$	1	
	バックボード	10		3		2		1		3	\vdash	1	
	ハシンホート									1	\blacksquare		
	ショートボード	7		2		2		1		1 1		1	

消防水利の状況

平成24年4月1日現在

				消火栓				防火水槽	十八八	24年2	+/3 [
111.1-	区分	地上	.式	地下	式		40 m³	20m³∼		プー	池	河
地垣	初	単口	双口	単口	双口	計	以上	40m³	計	ル	濠	Ш
	東	16	7	84	15	122	17	5	22	1		1
	西	57	7	126	6	196	29	2	31	1		2
	南	113	6	98	5	222	26	2	28	2		1
	神山	77		49		126	10		10	1	1	1
	吉野	99		114		213	22	1	23	2	2	1
	国高	100	5	171	4	280	24	1	25	3	2	1
	大虫	89		77		166	19	1	20	1	3	1
	坂口	3		34		37	12	1	13			1
越	王子保	94	1	109	2	206	33	2	35	1		3
前市	北新庄	42	2	35		79	12		12	1	1	2
	北日野	105		78	1	184	27	1	28	1		2
	味真野	124		54		178	42	1	43	1	1	2
	白山	68		37		105	26	1	27	1		2
	粟田部	6		112		118	20	2	22	1		1
	岡本	2		151		153	35	6	41	1	1	2
	南中山			126		126	38	3	41	2	1	
	服間			97		97	42	3	45	1		2
	計	995	28	1552	33	2,608	434	32	466	21	12	25
	角間郷	50				50	12		12		1	2
池	ф	84				84	23	1	24	1		3
\blacksquare	下	68				68	14		14			2
町	下池田	27				27	4		4			4
	計	229	0	0	0	229	53	1	54	1	1	11
	南日野	123		5		128	23	1	24		2	3
	南杣山	74				74	18		18		1	3
	北杣山	101		1		102	23	1	24	1		3
	湯尾	99		1		100	18	3	21	1		2
	宅良	81				81	24		24			2
南越	今庄	85		8		93	16	1	17	1		3
前町	鹿蒜	43		1		44	8		8			2
ш)	堺	93		1		94	20	1	21	1	1	4
	糠	3		27		30	10		10		1	1
	甲楽城~河野	3	1	52		56	16		16	1		1
	桜橋	5		32		37	15	1	16			1
	<u></u>	710	1	128	0	839	191	8	199	5	5	25
	合計	1,934	29	1,680	33	3,676	678	41	719	27	18	61

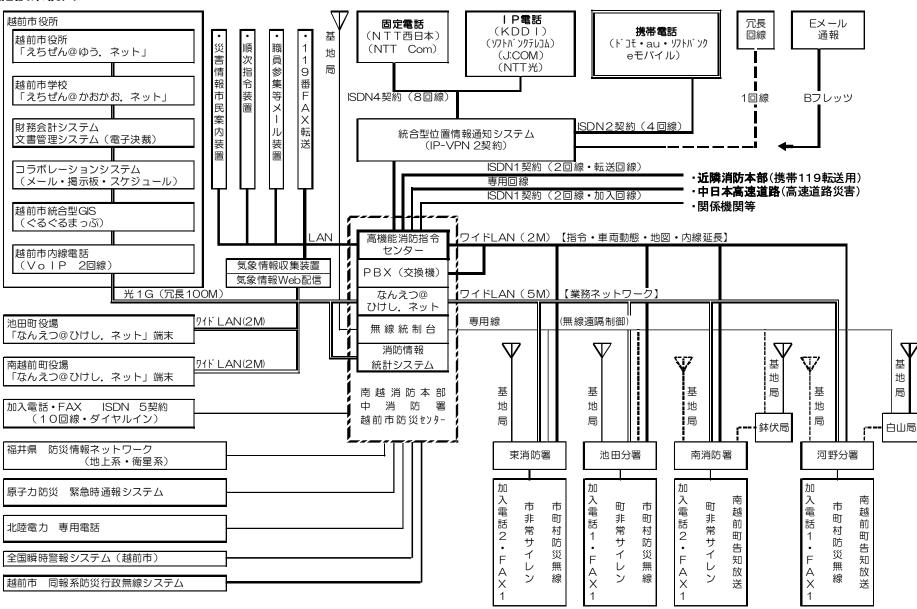
(単位:基)

水防資器材の状況

平成24年4月1日現在

区分	数量		配置	F 成 Z 4 平 4 月 1 日 玩 任
品名	数 重	越前市	池田町	南越前町
麻袋	1,930	800	450	680
化繊袋 大	1,365	300	865	200
化繊袋 小	30,600	18,600	6,000	6,000
縄	104	67	16	21
杉丸太 3間以上	116	99		17
杉丸太 2~3間	360	320		40
杉丸太 1.5~2間	399	215	153	31
杉丸太 1~1.5間	716	592	92	32
鉄線 1 4番	200	200		
鉄線 1 2番	690	600	50	40
鉄線 10番	1,405	850	315	240
鉄線 8番	1,580	1,500		80
スコップ	348	191	44	113
掛矢	50	14	7	29
唐鍬	71	33	15	23
ガメ鍬	32	4	12	16
ミツ鍬	18	13		5
ツルハシ	54	29	12	13
バチヅル	40	7	7	26
斧	27	18		9
カマ	162	102	30	30
ノコ	86	37	9	40
大・小ハンマー	65	39	15	11
ペンチ	35	11	15	9
ナタ	64	28	27	9
シノ	152	86	29	37
鉄線カッター	51	30	8	13
一輪車	48	17	14	17
カスガイ	67	0	49	18
杭(鉄)	899(265)	631	46(140)	222(125)

通信関係



30

消防通信施設の状況

平成24年4月1日現在

施設	区分	_	各署	計	消防本部 中消防署	東消防署	池田分署	南消防署	河野分署
	基地	6		7	2	1	1	2	1
	固定	局 イレン	/制御用)	7		7			
	無線	統制台	ີ	1	1				
	(遠	隔制征	[装置]	(6)	(4)			(1)	(1)
消防			消防署	43	19	8	4	8	4
無線		車載	AVM	33	11	7	4	7	4
	移動		消防団	41	13	12	5	8	3
		携帯: (O.	無線 1W含む)	88	39	18	9	18	4
			DMHZ)	(8)	(2)	(2)	(1)	(2)	(1)
	ワー	ク(地.	(情報ネット 上・衛星)	1	1				
	(Ⅱ	型)	指令センター	1	1				
	契約	数(回網		4 (8)	4 (8)				
	契約	119 数(回	副線数)	2 (4)	2 (4)				
	聴覚 FA	障害者 X・メ	が は マール	1	1				
	非常	用回線	(冗長用)	1	1				
	119 契約	番転送数(回	送回線 副線数)	1 (2)	1 (2)				
	統合	型位置	置情報通知システ	1	1				
有線	ΡВ	X(交	を換機)	3	1	1		1	
• 携	一般 契約	加入電 数(回	話 回線数)	12 (22)	6 (12)	2 (3)	1 (2)	2 (3)	1 (2)
携帯電	庁内:	電話		98	66	15	1	15	1
話等	携帯	電話((衛星含む)	10	4	2	1	2	1
5	救急	車用携	装帯電話	8	2	2	1	2	1
	テレ: (回線	ホンち (数)	ナービス	2 (10)	2 (10)				
		ックス		7	3	1	1	1	1
	原子:緊急	力防災 時通報	{ }システム	1	1				
		市役	所等	3	2	1			
	直通	北陸	電力	1	1				
		中日:	本高速	1	1				
	自動	気象観	測装置	2	1				1
そ	電光	掲示板	Ž	2		1		1	
ての他	監視	カメラ	ラシステム	3	1	1		1	
ᄜ	非常	サイレ	ンン	21	1	6		14	
	緊急	用信号	 号機	3	1	1		1	

119番受信状況

平成23年中

_												1 /	以23年中
月別 種別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
	3	9	11	13	3	3	2	4	2	5	4	5	64
火災		<1>		(2)				〈1〉			<1>	(2)	⟨ 7⟩
	(1)	(3)	(5)	(9)	(1)	(2)	(2)	(3)		(4)	(1)	(3)	(34)
	202	202	179	193	205	166	190	212	192	173	174	200	2288
救急	(38)	(38)	⟨34⟩	(33)	< 4 1>	<17>	<40>	(38)	〈 4 1〉	44 >	⟨35⟩	<46>	〈445〉
	(48)	(45)	(50)	(52)	(60)	(58)	(67)	(61)	(52)	(64)	(55)	(51)	(663)
	3	5	4	3	6	1	7	3	4	3	7	1	47
救助	<1>										<1>		⟨2⟩
	(1)	(2)	(2)	(2)	(3)	(1)	(4)	(2)	(2)	(2)	(5)	(1)	(27)
			1	2	1			1				1	6
その他災害													(O >
			(1)	(1)	(1)			(1)				(1)	(5)
	2			1	1	1		1	1	1	2		10
調査													(O)
	(2)			(1)	(1)	(1)		(1)		(1)	(1)		(8)
	15	12	32	21	62	49	34	26	30	61	82	20	444
訓練	〈2〉	⟨3⟩	⟨1⟩	4 >	⟨3⟩	⟨5⟩	⟨8⟩	⟨5⟩	⟨5⟩	⟨5⟩	(23)	⟨3⟩	(67)
	(3)				(12)		(2)	(3)		(7)	(5)		(32)
	2	1	7	2	4	1	3	6	3	4	2		35
いたずら	<1>									<1>			⟨2⟩
			(2)	(2)	(4)	(1)	(1)	(3)		(1)	(2)		(16)
	18	11	28	14	26	20	32	17	15	24	12	19	236
間違い	4 >	⟨3⟩	⟨5⟩	⟨1⟩	<5>	⟨3⟩	⟨3⟩	⟨3⟩		⟨2⟩	⟨2⟩	⟨2⟩	⟨33⟩
	(3)	(2)	(10)	(5)	(9)	(7)	(8)	(2)	(4)	(9)	(5)	(8)	(72)
	32	22	18	23	20	16	17	39	17	17	14	19	254
問い合せ	〈7 〉	⟨2⟩	〈1〉	⟨3⟩	<1>		⟨3⟩	〈4 〉		<1>	<1>	⟨5⟩	⟨28⟩
	(13)	(8)	(9)	(11)	(9)	(6)	(8)	(9)	(10)	(9)	(6)	(8)	(106)
	4	6	6	5	2	2	5	8	7	1	1	2	49
病院照会			⟨2⟩	⟨1⟩	⟨2⟩		⟨1⟩	⟨2⟩	⟨1⟩			⟨1⟩	⟨10⟩
	(2)	(3)	(1)	(3)		(1)	(3)	(5)	(3)		(1)	(1)	(23)
	11	8	20	16	28	17	22	19	17	14	26	12	210
その他	<1>	⟨2⟩	⟨3⟩	⟨3⟩	⟨3⟩	<1>	⟨3⟩	⟨3⟩	<1>	<1>	⟨3⟩	<1>	⟨25⟩
	(2)	(5)	(6)	(6)	(6)	(9)	(5)	(8)	(7)	(5)	(15)	(5)	(79)
	17	28	27	5	35	16	17	16	31	7	24	12	235
回線試験					<1>		⟨1⟩		⟨2⟩		⟨1⟩		⟨5⟩
													(O)
	309	304	333	298	393	292	329	352	319	310	348	291	3878
ā†	(54)	<49>	<46>	(47)	<56>	(26)	<59>	<56>	(50)	⟨54⟩	⟨67⟩	⟨60⟩	⟨624⟩
	(75)	(68)	(86)	(92)	(106)	(86)	(100)	(98)	(78)	(102)	(96)	(78)	(1065)

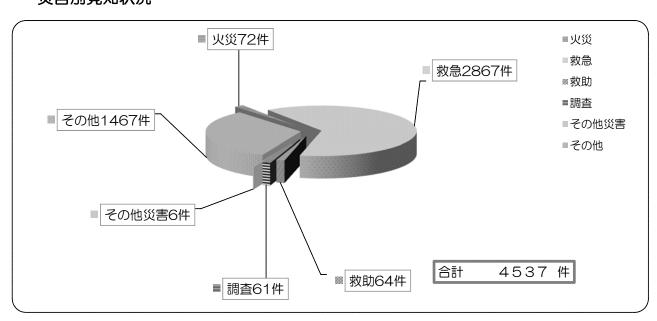
〈 〉内は、IP119番受信回数 ()内は、携帯119番受信回数

その他の緊急通報受信状況

平成23年中

													十八二	3年4
種別	月別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	ā l
	加入			1					1	2			1	5
火	駆付			1										1
災	自己										1			1
	その他	1												1
	加入	57	33	49	42	41	40	50	41	37	49	45	38	522
救急	駆付	3	3	1	1		5	1	3	2	2	2	3	26
急	自己		2	1	6			6	1	1	2			19
	その他		1	4	1			1		1	1		3	12
	加入	1	2		1		1	4					1	10
救	駆付													Ο
助	自己					1		1						2 5
	その他	1	1			2						1		
そ	加入													O
の (h)	駆付													0
の他災害	自己													0
害	その他													O
	加入	4	3	5	4	4	1	1	6	5	1	3	5	42
調	駆付								1					1
查	自己			1		1	2	2			1	1		8
	その他													O
,	加入					1								1
その	駆付													О
他	自己													0
	その他								1	2				3
	合計	67	45	63	55	50	49	66	54	50	57	52	51	659

災害別覚知状況



月別降雨量(過去5年間)

観測地 消防本部

(単位:mm)

												(+ 17	<u>/</u> • /
月別 年別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
平成19年	152	142	170	51	157.5	247	213.5	164	87	180.5	156	495.5	2216
平成20年	175.5	172.5	131.5	123.5	181.5	136	188	169.5	214	131	238	202.5	2063.5
平成21年	279	117.5	169.5	126	88	119	197	165.5	72.5	85	154.5	313	1886.5
平成22年	359	214.5	196.5	163.5	122.5	186	293	70.5	250	183	172.5	373.5	2584.5
平成23年	454	120.5	112.5	127.5	367.5	72	181	197.5	319.5	132	133	317.5	2534.5

過去5年間の気象状況

	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	計
快晴日	16	4	1	7	1	29
晴天日	126	158	160	140	140	724
曇天日	161	134	143	120	131	689
雨天日	56	52	44	80	65	297
雪天日	6	18	17	18	28	87

気象情報受信状況

_													平成2	3 年中
種別	月別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
	大雨				2	21	6	8	8	2				47
	大雪	14												14
	台風							6		25	2			33
情報	低気圧													0
•	記録的 短時間大雨													0
通報	高温少雨							5	13					18
	梅雨													0
	地震		2	1	4	1	5	3	3	2		9	4	34
	火災気象		1	1	16	10								28
	大雨				7	14	7	14	19	15	5	5	6	92
	洪水				5	20	5	11	15	11	3	1		71
	雷	49	14	31	27	26	32	63	76	28	14	22	39	421
	大雪	18											5	23
	風雪	23	4	8									18	53
12	融雪		5	3										8
注意報	雪崩	26	62	7									2	97
∓IX	強風	3	10	11	22	23		12		25	4	18	14	142
	波浪	47	14	24	4	16		6		34	4	21	47	217
	高潮							9	21	13	8	7		58
	電相			15	18									33
	濃霧	4	15	5	9	1	5			5	2	11	3	60
	乾燥			2	19	12								33
	大雨					16		8	6	20				50
警報	洪水					1		2	3	2				8
報	大雪	2											2	4
	波浪	5											2	7
	dž	191	127	108	133	161	60	147	164	182	42	94	142	1,551

火災統計

平成23年中における火災の概要

1 火災発生件数と火災種別

- (1) 平成 23 年中の火災発生件数は 27 件で、前年より 4 件の減少となった。
- (2) 火災種別では、「建物火災」が20件で前年より4件の減少となり、全火災の約74%を占めた。そのうち住宅火災は14件であった。次いで、「車両火災」4件、「林野火災」2件、「その他の火災」が1件であった。

2 損害額と焼損面積

(1) 損害の総額は 2,688 万 6 千円で、前年に比べ 3,893 万 4 千円の減少となり、火災1件あたりの損害額は 99 万 6 千円と前年に比べ 112 万 7 千円の減少となった。

なお、火災種別ごとの損害額は「建物火災」によるものが 2,673 万 3 千円で全損害額の約 99%を占め、そのうち住宅火災による損害額が 1,921 万 5 千円で建物火災損害額の約 72%となった。

また、「車両火災」による損害額は4万3千円で、「林野火災」による損害額は10万9千円だった。

(2) 建物の焼損棟数は26棟で、前年に比べ2棟減少した。焼損程度別では全焼6棟、部分焼7棟、ぼや13棟となった。

焼損床面積の合計は621㎡で、建物火災1件あたりの焼損床面積は約31㎡となった。

3 死傷者

平成23年中の火災による死者は1名(前年2名)、負傷者が4名(前年6名)であった。

4 出火原因

火災の主な出火原因は、「こんろ」が4件と最も多く、次いで「ストーブ」及び「たき火」がそれぞれ3件であった。

5 出火率等

出火率(人口 1 万人あたりの火災件数)は 2.7(前年 3.1)であり、火災は 13.5 日(前年 11.8 日)に 1 件の割合で発生したことになる。

なお、「平成23年版消防白書」による全国平均出火率は3.7である。

6 初期消火の状況

火災総数 27 件中、関係者及び付近民等が初期消火を実施したのは 19 件(約 70%)で、そのうち消火に成功した ものは 11 件で成功率は約 58%であった。

また、初期消火に使用した消火器具は「粉末消火器」、「水道水」が最も多く了件であった。

火災発生状況(過去5年間)

(△は減少)

50	年別	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	前年比較
区分							
	建物	22	28	17	24	20	△ 4
	林野			3	1	2	1
火災件数(件)	車両	2	4	2	6	4	Δ2
	その他	3	3	3		1	1
	合計	27	35	25	31	27	△ 4
	全焼	8	8	4	6	6	0
	半焼	2	4	2	3		△ 3
焼損棟数(棟)	部分焼	7	14	7	12	7	Δ5
	ぼや	13	11	8	7	13	6
	合計	30	37	21	28	26	△ 2
	建物床面積(㎡)	1,210	2,353	933	917	621	△ 296
焼損面積	建物表面積(㎡)	35	99	60	65	66	1
	林野(a)	2		50	1	6	5
	全損	3	4	2	4	3	△ 1
罹災世帯数	半損	1	3	2	3	1	Δ2
(世帯)	小損	7	9	10	12	13	1
	合計	11	16	14	19	17	△2
罹災人員(人)	17	50	41	49	53	4
	建物	44,667	122,338	50,426	63,185	26,733	△ 36,452
	林野			1,269	0	109	109
提宝额/TM\	車両	130	616	1,558	2,174	43	△ 2,131
損害額(千円)	その他	1,130	5	47		1	1
	爆発				461		△ 461
	合計	45,927	122,959	53,300	65,820	26,886	△ 38,934
死傷者数(人)	死者	1	3		2	1	△ 1
光陽白数(人)	負傷者	5	5	2	6	4	Δ2
火災発生間隔	(日)	13.5	10.4	14.6	11.8	13.5	1.7
1件平均損害	額(千円)	1,701	3,513	2,132	2,123	996	△ 1,127
1日平均損害	額(千円)	126	337	146	180	74	△ 106
1件平均建物	損害額(千円)	2,030	4,369	2,966	2,633	1,337	△ 1,296
1日平均建物	損害額(千円)	122	335	138	173	73	△ 100
1件平均建物	焼損床面積(㎡)	55.0	84.0	54.9	38.2	31.1	△ 7.1
1日平均建物	焼損床面積(㎡)	3.3	6.4	2.5	2.5	1.7	△ 0.8
一世帯当たり	損害額(円)	1,368	3,659	1,603	1,961	798	△ 1,163
出火率(人口1)	万人あたりの火災件数)	2.6	3.4	2.5	3.1	2.7	△ 0.4

行政区域別火災発生状況

	市町別	4557	\(\sigma = \frac{\sigma}{2}		平成と3年中
区分	1 J 25 755	越前市	池田町	南越前町	(平均)
	建物	18	1	1	20
	林野	1	1		2
火災件数 (件)	車両	3		1	4
	その他	1			1
	合計	23	2	2	27
	全焼	5		1	6
	半焼				0
焼損棟数 (棟)	部分焼	6	1		7
	ぼや	13			13
	合計	24	1	1	26
	建物床面積(㎡)	615		6	621
焼損面積	建物表面積(㎡)	64	2		66
	林野 (a)	4	2		6
	全損	3			3
 罹災世帯数	半損	1			1
(世帯)	小損	12	1		13
	合計	16	1	0	17
罹災人員(人)	-	48	5		53
	建物	26,715	7	11	26,733
	林野	69	40		109
七字数 (In)	車両	32		11	43
損害額(千円)	その他	1			1
	爆発				0
	合計	26,817	47	22	26,886
死/与学粉/ 1)	死者			1	1
死傷者数(人)	負傷者	4			4
火災発生間隔((日)	15.9	182.5	182.5	13.5
1件平均損害額	〔千円〕	1,166	24	11	996
1日平均損害額	〔千円〕	73	0	0	74
1件平均建物損	害額(千円)	1,484	7	11	1,337
1日平均建物損	害額(千円)	73	0	0	73
1件平均建物煤	ま損床面積(㎡) ・	34.2	0.0	6.0	31.1
1日平均建物煤	語損床面積(㎡)	1.7	0.0	0.0	1.7
人口一人当たり)損害額(円)	314	15	2	268
一世帯当たり損	書額(円)	921	44	6	798

													' '	成23年中
区分	月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
	建物	1	2	4	2		1	1	1	1	2	3	2	20
\ \ _{\\}	林野					1					1			2
火災件数	車両	1									1	1	1	4
数	その他								1					1
	計(件)	2	2	4	2	1	1	1	2	1	4	4	3	27
	全焼		1	2	2						1			6
쌛	半焼													0
焼損棟数	部分焼			2	2		1		1	1				7
数	ぼや	1	1	4				1			1	3	2	13
	計(棟)	1	2	8	4	0	1	1	1	1	2	3	2	26
쌛	床面積 建 (㎡)		213	184	172		46				6			621
焼損面積	建 (m) 物 表面積 (m)		1	8	3		50	1	1	2				66
積	林野(a)				2	2					2			6
	全損		1	1	1									3
罹災	半損						1							1
罹災世帯	小損			5				1		1	1	3	2	13
	計(世帯)	0	1	6	1	0	1	1	0	1	1	3	2	17
罹災	(人員		4	18	4		6	1		5	2	9	4	53
	建物		13,461	1,325	2,225		4,457	11	10	3	15	11	43	21,561
	収容物	714	817	329	979		2,206	77		4	21	10	15	5,172
	林野					40					69			109
損害額	車両	11									2	20	10	43
	その他								1					1
	爆発													0
	計(千円)	725	14,278	1,654	3,204	40	6,663	88	11	7	107	41	68	26,886
死炬	死者	1												1
死傷者	負傷者		1	1				1	1					4
														•

用途別•原因別火災発生状況

	原因別	たばこ	こんろ	ストーブ	焼却炉	ボイラー	煙突・煙道	排気管	電気機器	配線器具	マッチ・ラ	たき火	その他		損 害 額		焼損面積	
							道				ライター			計		建	建 勿	林野
	用途別														(千円)	床面積 (㎡)	表面積 (㎡)	(a)
	一般住宅	2	1	2	1	1			1		1		2	11	19,170	567	13	2
	併用住宅						1							1				
	共同住宅		2											2	45			
建物	料理店		1											1	118	2	1	
物	神社•寺院											1		1	2		1	
	工場•作業場									1				1	714			
	複合用途非特定												1	1	6,663	46	50	
	その他			1									1	2	22	6	1	
林野	? P											2		2	109			4
車両	<u> </u>							2					2	4	43			
その)他										1			1				
合計	ř	2	4	3	1	1	1	2	1	1	2	3	6	27	26,886	621	66	6

出火原因別(発火源・経過・着火物)火災発生状況

	原因	発火源	経過	着火物	件数
	たばこ	たばこ	火源が転倒落下する	ふとん,座ぶとん,寝具	1
			火源が動いて接触する	合成樹脂と成形品	1
	こんろ	ガスこんろ	過熱する	動植物油類	1
			放置する,忘れる	動植物油類	1
		こんろ	過熱する	動植物油類	1
		電気クッキングヒーター	過熱する	動植物油類	1
	ストーブ	ストーブ	その他	その他	1
		石油・ガソリンストーブ (開放式)	可燃物が火源の上に転倒落下する	衣類	1
		電気ストーブ・火鉢 (開放式)	可燃物が動いて火源に触れる	ふとん,座ぶとん,寝具	1
20件	焼却炉	ゴミ焼却炉・代用焼却炉	火の粉が散る遠くへ飛び火する	不明	1
件災	ボイラー	ボイラー	着火物が漏洩する	第二石油類	1
	煙突•煙道	高温気体一煙突	高温物が触れる	板	1
	電気機器	充電式電池	その他	その他	1
	配線器具	接続器(その他)	スパークする	合成樹脂と成形品	1
	マッチ・ライター	マッチ	放火・火遊び以外で無意識に火 をつける	第四石油類	1
	たき火	たき火の火の粉	火の粉が散る遠くへ飛び火する	板	1
	その他	電気ふとん・電気毛布	半断線により発熱する	ふとん,座ぶとん,寝具	1
		壁に打ち込んだ釘	漏電(地絡)する	柱・けた・はり	1
		金属と切断機の衝撃火花	火花が飛ぶ	その他	1
		直接雷	落雷する	積算電力計	1
林 2野 件 災	たき火	たき火	火源が動いて接触する	枯草 (生えたまま枯れたも の)	2
	排気管	高温気体一排気管	高温物が触れる	タイヤ	1
車 4両			着火物が漏洩する	第四石油類	1
件火災	その他	交通機関内配線 (その他)	電線が短絡する	電気配線類	1
		その他の摩擦により 熱せられたもの	輻射を受けて発火する	その他	1
火災1件の	マッチ・ライター	ライター	火源が動いて接触する	第二石油類	1

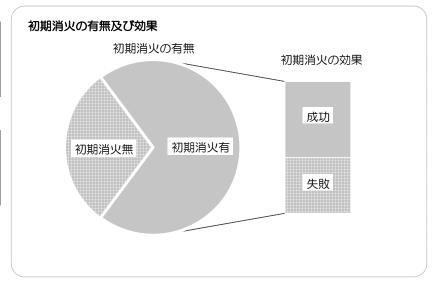
初期消火の状況

(1) 初期消火の有無

	件 数
有	19
無	8
合 計	27

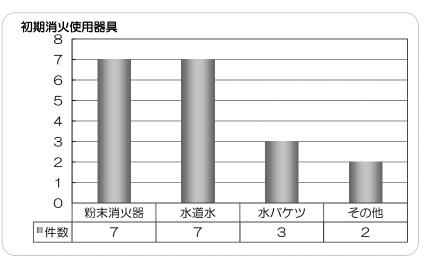
(2) 初期消火の効果

		件	数	
成	功			11
失	敗			8
合	計			19



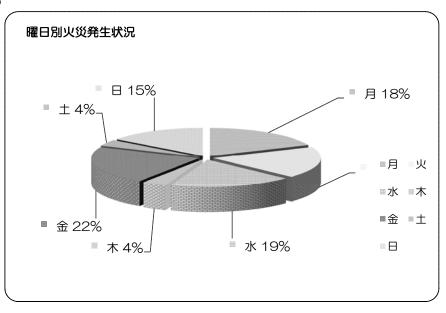
(3)初期消火使用器具

	件数
粉末消火器	7
水道水	7
水バケツ	3
その他	2
合 計	19



曜日別火災発生状況

_	
	件 数
月	5
火	5
火 水 木 金	5
木	1
金	6
土	1
В	4
合計	27



救急•救助統計

平成 23 年中における救急・救助の概要

救 急

1 出場件数

平成 23 年中の救急出場件数は 2,872 件、搬送人員は 2,791 人で、これは 1 日約 7.9 件の出場で 7.6 人を搬送したこととなり、管内住民 35.9 人に 1 人の割合で救急搬送されたことになる。

なお、救急出場件数は、前年に比べ出動件数で111件増加し搬送人員も116人増加した。

2 事故種別

事故種別毎では、上位が「急病」の 1,660 件で最も多く全体の半数以上(約 58%)を占めており、次いで多いのは「一般負傷」で 456 件(約 16%)、「交通事故」 321 件(約 11%)、「転院搬送」 315 件(約 11%)となった。

3 走行距離と収容時間

救急出場1件当たりの平均走行距離は 20.4kmであり、南消防署、池田分署、河野分署が平均走行距離を大きく上回った。

現場到着までの平均時間は 6.8 分で、医療機関へ収容するまでの平均収容所要時間は 26.5 分であった。

4 傷病程度別搬送人員

救急搬送した2,791人の傷病程度は、次のとおりである。

○重 症.......708人(25.4%)

〇中 等 症.......768人(27.5%)

〇軽 症....1,223人(43.8%)

〇死 亡......90人(3.2%)

Oその他.....2人(0.1%)

応急処置実施総件数は9,107件で、これは搬送傷病者1人平均3.2件の応急処置を実施したことになる。 応急処置項目では、血中酸素飽和度測定(2,634件)、血圧測定(2,604件)が最も多く、次いで心電図測定(1,058件)、酸素吸入(728件)の順となった。また、除細動は9件、気管挿管を含む食道閉鎖式チューブ等使用による気道確保は15件、静脈路確保は13件であった。

なお、平成18年7月より運用を開始した薬剤投与(アドレナリン)認定救命士による薬剤投与は4件であった。

6 北陸自動車道における出場状況

北陸自動車道への救急出場件数は 43 件・搬送人員は 50 人であり、前年に比べ出場件数で 9 件・搬送人員で 9 人それぞれ増加した。

救 助

1 出場件数と事故種別

平成 23 年中における出場件数は 67 件で、前年に比べて 21 件の増加となった。

事故種別毎の出場件数は、交通事故が41件で最も多く、全出場件数の約61%を占めており、以下その他の事故が19件、水難事故、風水害・自然災害及び建物等による事故がそれぞれ2件、機械による事故が1件となった。 救助人員は32名で、前年に比べて7名の増加となった。

2 月別、曜日別出場状況

月別の出場件数では7月が13件と最も多く、曜日別の出場件数では月曜日が14件と最も多かった。

3 北陸自動車道における出場状況

北陸自動車道への出場件数は7件・救助人員は6人で前年に比べ出場件数で2件・救助人員で6人それぞれ増加した。

署所別救急出場状況

平成23年中

署所別種別	中消防署	東消防署	池田分署	南消防署	河野分署	ā l
	3	2		1		6
災害	3					3
				1	2	3
事故	149	103	10	46	13	321
災害	16	6	2	4	1	29
競技	5	8		3	1	17
負傷	206	148	23	63	16	456
	8	5				13
行為	21	11	2	3	1	38
	840	503	59	219	39	1,660
転院搬送	173	86	30	19	7	315
医師搬送	1					1
器材搬送						O
その他	6			2	2	10
(件)	1,431	872	126	361	82	2,872
(%)	49.8	30.4	4.4	12.6	2.8	100%
平均 件数	3,9	2.4	0.3	1.0	0.2	7.9
現場到着 (分)	6,3	7.0	6.6	8,2	8.5	6.8
収容所要 (分)	22.6	27.8	39.8	32.1	37.4	26.5
総所要 (分)	44.2	54.9	82.3	63,3	76,3	52.4
走行 (km)	13,6	21.2	51.0	30.1	39.8	20.4
	重別 災害 事 災	選書 3 事故 149 災害 16 競技 5 負傷 206 8 8 行為 21 840 転院搬送 173 医師搬送 1 器材搬送 6 その他 6 (件) 1,431 (%) 49.8 平均 3.9 環境到着 (分) 49.8	選書 3 2 2 3 3 4 3 4 3 4 3 4 3 4 3 4 3 4 3 4	要故 149 103 10	選書 3 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	双音 3 2 1 1 2 2 更級 1 1 2 2 更級 1 1 2 2 更級 1 4 1 1 2 2 更級 1 4 1 1 3 1 1 2 2 1 4 1 1 3 1 1 1 2 3 1 1 1 1 1 2 1 3 1 1 1 1

月別救急出場状況

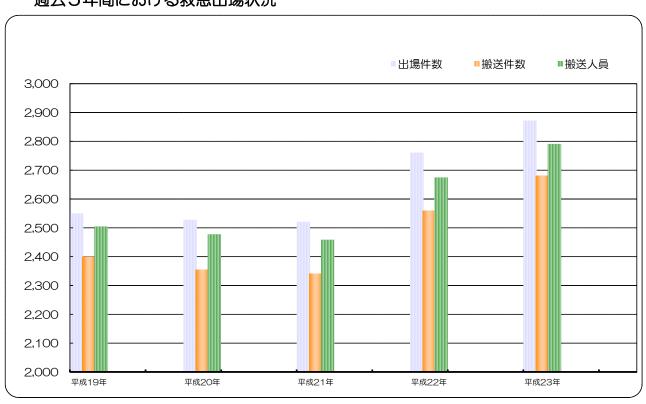
	-		_				\F.		4-	_	-		その	D他		1 12	(23年中
月別	種別 区分	火災	自然災害	水 難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	割	自損行為	急病	転院搬送	医師搬送	器材搬送	その他	≣†	前年比較
1	出場件数	1	2		20	2		54	1	3	149	34			1	267	△8
	搬送人員		2		27	2		54	1	3	136	34			2	261	3
2	出場件数	1	1		28	1	1	47			145	14			1	239	52
	搬送人員	1	1		29	1	2	45			135	14				228	50
3	出場件数	1			27	3		31	1	2	139	28				232	31
	搬送人員	1			36	3		30	1	2	128	28				229	29
4	出場件数				26	2	2	36		3	144	32	1			246	50
	搬送人員				28	2	2	36		2	139	32				241	49
5	出場件数				25	4	2	36	5	6	134	33			1	246	△ 4
	搬送人員				28	4	2	34	2	4	125	33				232	∆ 8
6	出場件数				23	2	3	33		5	121	26				213	△ 11
	搬送人員				28	2	3	33		5	110	26				207	△ 10
7	出場件数	1		2	30	4	3	32	3	2	139	32			3	251	11
	搬送人員	1			36	4	3	29	2	1	135	32				243	16
8	出場件数	1		1	28			37		3	155	24			2	251	△ 36
	搬送人員	1		1	40			37		1	146	24				250	△ 24
9	出場件数	1			23	4	1	37		2	139	25				232	28
	搬送人員				25	4	1	34		1	133	24				222	12
10	出場件数				36	3	2	36	1	5	112	31			2	228	4
	搬送人員				51	3	2	35	1	1	102	31			2	228	11
11	出場件数				28	2	3	36		4	131	23				227	15
	搬送人員				37	2	3	36		2	120	23				223	20
12	出場件数				27	2		41	2	3	152	13				240	△ 21
	搬送人員				31	2	.,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	41	1	3	136	13				227	△ 32
計	出場件数	6	3	3	321	29	17	456	13	38	1,660	315	1	0	10	2,872	111
וט	搬送人員	4	3	1	396	29	18	444	8	25	1,545	314	0	0	4	2,791	116

傷病程度別搬送人員

平成23年中

種別程度別	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院搬送	その他	計(人)	割合(%)
重症	0	0	0	35	7	0	144	0	4	366	152	0	708	25.4
中等症	2	0	1	52	10	3	90	1	7	463	135	4	768	27.5
軽症	2	3	0	304	10	15	198	7	10	651	23	0	1,223	43.8
死亡	0	0	0	4	2	0	12	0	4	64	4	0	90	3.2
その他	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	2	0.1
計	4	3	1	396	29	18	444	8	25	1,545	314	4	2,791	100

過去5年間における救急出場状況



	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年
出場件数	2,550	2,528	2,521	2,761	2,872
搬送件数	2,400	2,355	2,341	2,559	2,681
搬送人員	2,505	2,478	2,459	2,675	2,791

応急処置の状況

						平成25年中
署所別	中 消 防 署	東消防署	池田分署	南消防署	河野分署	計
止血	31	30	1	8	5	75
 固定	146	163	24	69	18	420
人工呼吸	5	5				10
心臓マッサージ		3				3
心肺蘇生	43	32	4	8	1	88
酸素吸入	316	231	49	103	29	728
気道確保	76	54	5	17	2	154
(経鼻エアウエイ)						Ο
(喉頭鏡・鉗子による異物除去)		2	2			4
(ラリンゲアルマスク等)	2	2		3		7
(気管挿管)	2	2		4		8
保温	108	251	45	174	29	607
被覆	40	62	7	27	12	148
ショックパンツ						О
除細動	5	2		2		9
静脈路確保	2	6		5		13
薬剤投与		2		2		4
血圧測定	1,261	810	121	337	75	2,604
在宅療法の継続	4			1		5
聴診器による 心音呼吸音聴取	64	36	15	38	20	173
血中酸素飽和度測定	1,277	816	123	345	73	2,634
心電図測定	446	369	61	149	33	1,058
(心電図伝送)						Ο
その他	28	147	1	189	9	374
合 計	3,852	3,019	456	1,474	306	9,107

北陸自動車道における救急出場状況

					平成23年中
⊠.	署所別	中消防署	東消防署	南消防署	≣†
出場件数		1	13	29	43
不搬送件数		1		6	7
搬送人員			17	33	50
	交通事故	1	7	11	19
事故	急病		5	15	20
事故種別	一般負傷		1	2	3
	その他			1	1
	死亡				0
	重症		1	2	3
傷病程度別	中等症		3	3	6
,53	軽症		13	28	41
	その他				0

救助出場状況

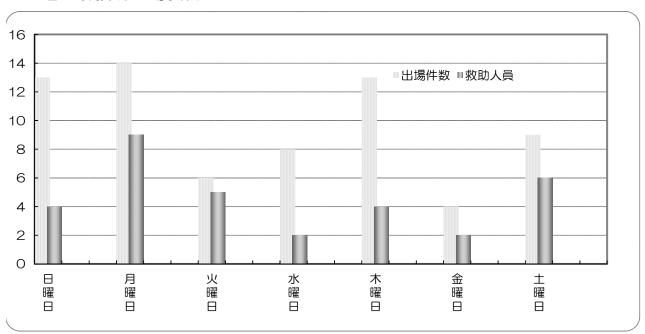
														平成2	3年中
事故種別	月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計	前年比較
	出場件数													0	0
火災	活動件数													0	0
	救助人員													0	0
	出場件数	2	4	5	2	5	2	6	4	2	2	6	1	41	11
交通事故	活動件数	1	2			4	1	2			1	4		15	4
	救助人員	3	1			4	2	2			1	5		18	4
	出場件数							2						2	Δ1
水難事故	活動件数							2						2	0
	救助人員							1						1	△ 1
	出場件数	1	1											2	2
風水害• 自然災害	活動件数	1												1	1
	救助人員	1												1	1
	出場件数				1									1	Δ1
機械に よる事故	活動件数				1									1	0
	救助人員				1									1	0
	出場件数					1		1						2	1
建物等に よる事故	活動件数					1								1	1
	救助人員					1								1	1
	出場件数													0	△ 1
ガス及び 酸欠事故	活動件数													0	Δ1
	救助人員													0	Δ1
	出場件数													0	0
爆発事故	活動件数													0	0
	救助人員													0	0
	出場件数	2	2		2	2	1	4		2	3	1		19	10
その他の 事故	活動件数	1			1	1	1	3		1	1	1		10	3
	救助人員	1			1	1	1	3		1	1	1		10	3
	出場件数	5	7	5	5	8	3	13	4	4	5	7	1	67	21
合計	活動件数	3	2	0	2	6	2	7	0	1	2	5	0	30	8
	救助人員	5	1	0	2	6	3	6	0	1	2	6	0	32	7

発生場所別救助出場状況

平成23年中

発生場	所	件数等	出場件数	活動件数	救助人員
屋内	住居		3	1	1
内	その他の	の屋内	3	3	3
	道	高速自動車国道	7	4	6
	道 路 その他の道路		27	7	8
屋 外	水内水面		8	3	4
外	面	外水面	3	1	
	山岳		6	4	4
	その他の屋外		10	7	6
地下	地下				
その他					
		計	67	30	32

曜日別救助出場状況



	日曜日	日曜日 月曜日		水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	
出場件数	13	14	6	8	13	4	9	
救助人員	4	9	5	2	4	2	6	

消防団

南越消防組合消防団の沿革

消防団は、消火活動だけでなく、地震や風水害等多数の動員を必要とする大規模災害時の救助救出活動、避難誘導、災害防ぎょ活動など地域住民の生命や財産を守るために活躍しています。さらに、平常時においても、住民への防火指導、巡回広報、特別警戒、応急手当指導等、地域に密着した活動を展開しており、地域における消防力・防災力の向上、地域コミュニティの活性化に大きな役割を果たしています。組合管内には3団30分団が活動しています。

消防団の沿革

年月日	沿 革
昭和45. 9. 1	武生市及び今立町で「南越消防組合」を設立
	(定員 武生消防団450名、今立消防団106名)
昭和46.10. 1	南条町、河野村が南越消防組合に加入
昭和46.10.15	団員定員条例改正(南条消防団60名、河野消防団93名)
昭和47. 3.30	団員定員条例改正(河野消防団60名)
昭和47.10. 1	今庄町、池田町が南越消防組合に加入
昭和47.10.30	団員定員条例改正(池田消防団63名、今庄消防団105名)
昭和47.11. 6	北陸トンネル内列車火災事故発生、救助活動を展開
昭和48. 4. 1	南越地区消防協会設立
昭和48. 9. 1	内閣総理大臣表彰(北陸トンネル列車火災事故での救助活動に対し)
昭和50. 7.12	福井県消防操法大会小型ポンプの部優勝(武生消防団第3分団)
昭和53. 8.29	団員定員条例改正(池田消防団60名)
昭和56. 7.31	福井県消防操法大会ポンプ車の部優勝(池田消防団第4分団)
昭和57.7.1	南越地区消防協会を南越消防協会に改称
昭和57.8.9	福井県消防操法大会ポンプ車の部優勝(今庄消防団本部分団)
昭和57.10.11	全国消防操法大会出場(今庄消防団本部分団)
昭和62.3.4	消防庁長官表彰(今庄消防団表彰旗)
平成 2.4.1	消防団活動強化事業を実施(3ヵ年)
平成 2.10. 1	武生消防団に女性消防団誕生(12名)
平成 4.3.4	消防庁長官表彰(今立消防団表彰旗)
平成 5.3.3	消防庁長官表彰(河野消防団表彰旗)
平成 5.11.18	自治体消防45周年記念式典参加(東京ドーム)
平成 7.3.3	消防庁長官表彰(南条消防団表彰旗)
平成 9.3.6	消防庁長官表彰(池田消防団表彰旗)
平成 9.1.24~	ロシア船籍「ナホトカ号」沈没に伴う流出重油回収(理論岩こでボランティア活動)
平成 9.7.20	福井県消防操法大会小型ポンプの部優勝(武生消防団第6分団)
平成10. 3. 7	自治体消防50周年記念式典参加(日本武道館)
平成14. 7.27	福井県消防操法大会小型ポンプの部優勝(今庄消防団本部分団)
平成15. 3.27	消防庁長官表彰(武生消防団地域活動表彰)
平成15.11.20	自治体消防55周年記念式典参加(東京ドーム)
平成16. 7.18 ~	福井豪雨により今立町及び池田町が被災したことによる水防活動を展開
平成16.11. 6	福井県知事表彰(今立消防団、池田消防団福井豪雨特別功労竿頭綬)
平成17. 1. 1	南条郡下町村合併により南越前消防団設立(南越前消防団225名)
平成17. 7.23	福井県消防操法大会小型ポンプの部優勝(武生消防団第3分団)
平成17.10. 1	武生市、今立町の合併により越前市消防団設立(越前市消防団556名)
平成20. 3. 7	(財)日本消防協会長表彰「特別表彰まとい」(南越前消防団)
平成20. 4. 1	越前市消防団の分団を再編(18分団を17分団に)し、越前市消防団の分団名称
_ ,, _ ,	を地区名称に変更
平成21. 3. 7	消防団PRビデオ作成(消防庁)越前市消防団の活動を紹介(福井豪雨時)
平成22. 7.24	福井県消防操法大会小型ポンプの部優勝(越前市消防団吉野分団)
平成24.4.1	南越前消防団の分団名称を変更

消防団組織機構

区分	組織		担 当 地 区
	越前市消防団	東分団	東地区
		西分団	西地区
		南分団	南地区
		神山分団	神山地区
		吉野分団	吉野地区
		国高分団	国高地区
		大虫分団	大虫地区
		坂口分団	坂口地区
越前市		王子保分団	王子保地区
	団長 —— 副団長 ——	北日野分団	北日野地区
		北新庄分団	北新庄地区
		味真野分団	味真野地区
		白山分団	白山地区
		粟田部分団	粟田部地区
		岡本分団	岡本地区
		南中山分団	南中山地区
		服間分団	服間地区
	池田消防団	第 1 分団	角間郷地区
池田町	団長 —— 副団長 ——	第 2 分団	中地区
/G II W	지만 —— 지만	第 3 分団	下地区
		第 4 分団	下池田地区
	南越前消防団	南条西分団	日野川以西
		南条東分団	日野川以東
		湯尾・宅良分団	湯尾・宅良地区
		今庄分団	今庄地区
南越前町	団長 —— 副団長 ——	鹿蒜分団	鹿蒜地区
		堺分団	堺地区
		糠分団	糠地区
		河野分団	甲楽城・今泉・河野地区
		桜橋分団	桜橋地区

消防団員の配置状況

平成24年4月1日現在(単位:人)

各消防	種別	合計	団長	副団長	分団長	副分団長	班長	団員
定員		841	3	11	35	40	85	667
実員		750	3	8	30	30	79	600
	定員	556	1	4	18	18	57	458
	実員	517	1	3	17	17	56	423
	団長等	10	1	3				6
	東分団	29			1	1	3	24
	西分団	34			1	1	4	28
	南分団	30			1	1	3	25
	神山分団	25			1	1	3	20
	吉野分団	37			1	1	4	31
越前	国高分団	43			1	1	4	37
越前市	大虫分団	37			1	1	3	32
消防	坂口分団	18			1	1	2	14
可	王子保分団	33			1	1	4	27
	北日野分団	34			1	1	3	29
	北新庄分団	22			1	1	3	17
	味真野分団	36			1	1	4	30
	白山分団	34			1	1	4	28
	粟田部分団	21			1	1	3	16
	岡本分団	26			1	1	3	21
	南中山分団	20			1	1	3	15
	服間分団	28			1	1	3	23
	定員	60	1	2	4	4		49
Sul-	実員	57	1	2	4	4		46
池田	団長等	3	1	2				
消	第1分団	13			1	1		11
防 団	第2分団	14			1	1		12
	第3分団	14			1	1		12
	第4分団	13			1	1		11
	定員	225	1	5	13	18	28	160
	実員	176	1	3	9	9	23	131
	団長等	4	1	3				
	南条西分団	20			1	1	2	16
南越前	南条東分団	19			1	1	2	15
前	湯尾・宅良分団	26			1	1	4	20
消防	今庄分団	29			1	1	4	23
団	鹿蒜分団	12			1	1	2	8
	堺分団	14			1	1	2	10
	糠分団	13			1	1	2	9
	河野分団	18			1	1	3	13
	桜橋分団	21			1	1	2	17

消防団員の年齢状況

平成24年4月1日現在 (単位:人)

年 齢	合 計	越前市消防団	池田消防団	南越前消防団
20歳未満				
20歳以上~30歳未満	34	19	2	13
30歳以上~40歳未満	206	134	10	62
40歳以上~50歳未満	284	211	16	57
50歳以上~60歳未満	181	126	18	37
60歳以上	45	27	11	7
計	750	517	57	176

消防団員の勤続年数

平成24年4月1日現在 (単位:人)

年 数	合 計	越前市消防団	池田消防団	南越前消防団
5年末満	163	133	8	22
5年以上~1 0年未満	155	116	5	34
1 〇年以上~ 1 5年未満	126	85	8	33
1 5年以上~20年末満	116	72	9	35
20年以上~25年末満	120	69	13	38
25年以上~30年末満	42	23	9	10
30年以上	28	19	5	4
āl	750	517	57	176

消防団員報酬

平成24年4月1日現在 (単位:円)

	区分	支給金額				
	消防団別	越前市消防団	池田消防団	南越前消防団		
	団長	95,000	82,100	82,100		
 	副団長	63,000	58,050	58,050		
年報酬	分団長	45,800	45,800	45,800		
	副分団長	29,100	29,100	29,100		
	班長	17,600		17,600		
	団員	13,900	13,900	13,900		
	出動報酬:1回につき 2,600円					

消防車両配置状況

(消防	iポンプ自動車						平成24年4	月1日現在
団別	分団名	配置場所	車種	積載ポンプ	級別名称年式	車名	初年度登録	排気量
	国高分団	村国一丁目	A-2級BD-I型			ニッサン	平成7年	4,160
	坂口分団	湯谷町	A-2級BD-I型	C-1ラビ	ット H7	ニッサン	平成4年	4,160
	王子保分団	四郎丸町	A-2級BD-I型			ニッサン	平成6年	4,160
越前	北日野分団	小野谷町	A-2級BD-I型			トヨタ	平成9年	4,160
市市	味真野分団	五分市町	A-2級BD-I型			ニッサン	平成6年	4,160
1	岡本分団	岩本町	A-2級BD-I型	C-11-	ハツ H5	トヨタ	平成9年	4,160
	南中山分団	西庄境町	A-2級BD-I型	C-1シバ	ウラ H6	ニッサン	平成6年	4,160
	服間分団	藤木町	A-2級CD-Ⅰ型	C-1 シバ	ウラ H14	日野	平成22年	4,000
	第1分団	新保	A-2級BD-I型	C-11-	Nツ H4	トヨタ	平成12年	4,160
池	第2分団	稲荷	A-2級BD-I型			トヨタ	平成9年	4,160
	第3分団	谷口	A-2級BD-I型	C-1シバ	ウラ H6	トヨタ	平成15年	4,160
	第4分団	千代谷	A-2級BD-I型	C-1 -	ハツ H5	ニッサン	平成6年	4,160
	南条西分団	東大道	A-2級BD-I型	C-1シバ	ウラ H11	トヨタ	平成15年	4,160
1.	湯尾・宅良分団	古木	A-2級BD-I型	C-1シバ	ウラ H6	トヨタ	平成13年	4,160
南越	今庄分団	今庄(梅ヶ枝)	A-2級BD-I型	C-1 -	ハツ H2	トヨタ	平成16年	4,160
前	鹿蒜分団	上新道	A-2級BD-I型	C-1ラビ	ット H5	トヨタ	平成9年	4,160
	堺分団	大門	A-2級BD-I型	C-1 \-	ハツ H4	トヨタ	平成10年	4,160
	河野分団	甲楽城	A-2級BD-I型	C-1シバ	ウラ H14	トヨタ	平成13年	4,160
(多機	能型消防車(消防団救助資機材	搭載型車両))					
寸			積載	ポンプ				
別	分団名	配置場所	級別	名称	年式	車名	初年度登録	排気量
越前市	岡本分団	轟井町	B-2級	トーハツ	平成22年	いすゞ	平成22年	2,990
	▲ 動小型動力ポ	<u>■</u> ンプ積載車)						
Image: Control of the			着 載	ポンプ				
別	分団名	配置場所	級別	名称	年式	車名	初年度登録	排気量
	神山分団	広瀬町	B-2級	トーハツ	平成23年	トヨタ	平成24年	2,980
±rb		+Em	B-2級	トーハツ	平成23年	. 7.7	平成24年	
越前	白山分団	堀町	C-1級	シバウラ	平成12年	トヨタ	平成24年	2,980
市	北新庄分団	北町	B-2級	トーハツ	平成21年	トヨタ	平成21年	2,980
	粟田部分団	粟田部町	B-2級	トーハツ	平成21年	トヨタ	平成21年	2,980
南	糠分団	糠	B-2級	トーハツ	平成22年	トヨタ	平成22年	2,980
越			B-2級	シバウラ				2,490
133	桜橋分団 型動カポンプ積	赤萩	ローと被	シハフフ	平成18年	トヨタ	平成18年	2,490
	劉刀ハノノ傾	戦 <i>早)</i> ▮	括 載	ポンプ				
別	分団名	配置場所	級別	名称	年式	車名	初年度登録	排気量
755	東分団	国府二丁目	C-1級	ラビット	平成6年	スバル	平成6年	650
	西分団	中央二丁目	C-1級	トーハツ	平成7年	ダイハツ	平成7年	650
1	西分団	高瀬一丁目	C-1級	シバウラ	平成1年	三菱	平成1年	650
	南分団	若竹町	C-1級	トーハツ	平成15年	ータ ダイハツ	平成15年	650
	吉野分団	家久町	C-1級	シバウラ	平成15年	三菱	平成15年	650
越	吉野分団	氷坂町	C-1級	ラビット	平成7年	スバル	平成10年	650
前	国高分団	横市町	C-1級	シバウラ	平成9年	三菱	平成9年	650
市	大虫分団	高森町	C-1級	トーハツ	平成5年	三菱	平成14年	650
	王子保分団	四郎丸町	C-1級	シバウラ	平成3年 平成8年	三菱	平成14年	650
	北日野分団	大手町	C-1級 C-1級	トーハツ	平成0年 平成11年	_{二変} ダイハツ	平成04	650
	味真野分団	中居町	B-3級	トーハツ	平成11年	ダイハツ	平成11年	650
	白山分団	安養寺町	B-2級	シバウラ	平成4年 平成21年	スズキ	平成13年 平成21年	650
池		Ì			Ì			
	第2分団	稲荷	C-1級	シバウラ	平成6年	ニッサン	平成3年	2,660
南	南条東分団	鋳物師	C-1級	トーハツ	平成14年	ダイハツ	平成13年	650
越	湯尾・宅良分団	湯尾	C-1級	ラビット	平成12年	スバル	平成12年	650
前								

小型動力ポンプ配置状況

平成24年4月1日現在

団別	分団別	配置場所	級別	名称	年式	馬力
	南分団	松森町	C-1級	シバウラ	平成8年	15
	国高分団	瓜生町	C-1級	シバウラ	平成10年	15
越前市	国高分団	高木町	C-1級	シバウラ	平成8年	15
	大虫分団	大虫町	C-1級	トーハツ	平成9年	15
	味真野分団	五分市町	C-1級	シバウラ	平成3年	15
	予 備					

関係団体

越前市防火 • 防災委員会

越前市の各世帯を構成単位とし、防火・防災を目的とする団体として組織されています。前身は、昭和26年10月、防火を目的に「武生市防火委員会」として設立されました。その後、合併により旧今立町の各世帯が加入したことから、平成18年4月に名称を「越前市防火委員会」としました。

なお、地域ぐるみの自主防災活動を促進するため、目的に防災を加えることとし、平成19年4月に現在の「越前市防火・防災委員会」へ名称を変更しました。

正しい防火の習慣の実践とともに、自助、共助精神のもと、あらゆる災害に立ち向かうための町内ぐるみの自主防災組織づくりを活動目標とし、各種の事業を推進しています。

委員会には262町内27,000世帯が加入しています。

南越地区危険物安全協会

南越消防組合管内における危険物取扱関係事業所並びに危険物等の設備工事を業とするもので組織されています。前身は、昭和36年6月に危険物の安全管理・災害予防対策の研究及びその広報等を目的とした危険物災害防止協力団体「武生市危険物安全協会」で、その後、消防組合の管轄に合わせ対象を拡大し、昭和51年5月に現在の名称に変更しました。

協会には、第1種から第4種会員まで236事業所が加入しています。

自警消防隊

各町内(区)単位で組織されており、火災予防のための広報活動やポンプ操法訓練など町内(区)の防火活動に取り組んでいます。また、近年は、大規模災害における初期消火、救出・救護等の活動にも対応できるよう、共助力の向上を目指し、自主防災組織の中核として位置づけられています。

管内自警消防隊の現況

平成24年4月1日現在

区分	隊数	隊員数	小型動カポンプ台数
越前市	215隊	3, 763名	181台
池田町	21隊	156名	21台
南越前町	65隊	831名	64台
合計	301隊	4,750名	266台

自警消防隊の連合会組織の状況

池田町自警消防隊連合会平成 2年4月設立南越前町自警消防隊連絡協議会平成17年4月設立越前市自警消防隊連合会平成18年4月設立

越前市自警消防隊連合会は、市町合併に伴い武生市自警消防隊連合会と今立町自警消防隊連合会が統合し設立されました。

なお、小学校区単位で10地区に連合組織が結成されています。

越前市自衛消防隊連絡協議会

越前市内の事業所の自衛消防隊により組織されています。昭和54年9月、消防機関と連携を密にして 自衛消防技術の向上と災害の未然防止等に努めることを目的として、旧武生市内の事業所の自衛消防隊を 構成員として設立されました。その後、合併により、平成17年10月1日、現在の名称に変更しました。 協議会には78の事業所が加入しています。

少年消防クラブ (BFC)

小学校の児童に対し防火意識の高揚を図るため、管内1市1町の小学校単位で結成されており、現在21班878名がクラブ員となって活動しています。

平成24年4月1日現在

区分	班数	クラブ員数
越前市	17班	763名
南越前町	4 班	115名
合計	21班	878名

幼年消防クラブ

幼児期における防火意識の育成を図るため管内1市1町の幼稚園、保育園単位で結成されており、現在46班942名がクラブ員となって活動しています。

平成24年4月1日現在

区分	班数	クラブ員数
越前市	40班	774名
南越前町	6 班	168名
合計	46班	942名

平成24年度全国統一防火標語 「消すまでは 出ない行かない 離れない」

平成24年度危険物安全週間推進標語 「危険物 めざせ完封 ゼロ災害」

平成24年度全国山火事予防運動統一標語 「忘れない 山への感謝と 火の始末」